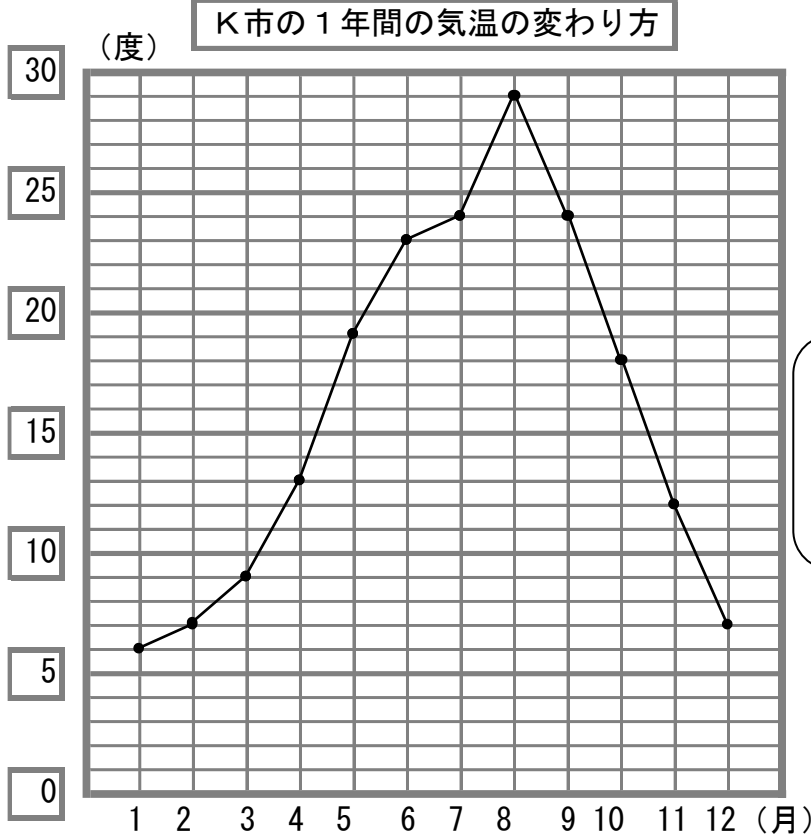


( )年( )組( )番

名前( )

1 折れ線グラフを見て答えましょう。(10点×8問)

点



折れ線グラフでは、線のかたむきで変わり方が分かります。  
かたむきが急なほど、変わり方が大きくなります。

- ①たてのじくは、何を表していますか。      ① (      気温      )
- ②横のじくは、何を表していますか。      ② (      月      )
- ③一番気温が高いのは、何月ですか。      ③ (      8月      )
- ④それは何度ですか。      ④ (      29度      )
- ⑤一番気温が低いのは、何月ですか。      ⑤ (      1月      )
- ⑥それは何度ですか。      ⑥ (      6度      )
- ⑦気温の上がり方が一番大きいのは、何月と何月の間ですか。      ⑦ (4月と5月の間 )
- ⑧それは、何度ですか。      ⑧ (      6度      )

2 折れ線グラフを見て、気温の変化について気づいたことを書きましょう。(20点)

解答例 (1つ書けたら10点、2つ以上書けたら20点とします。)

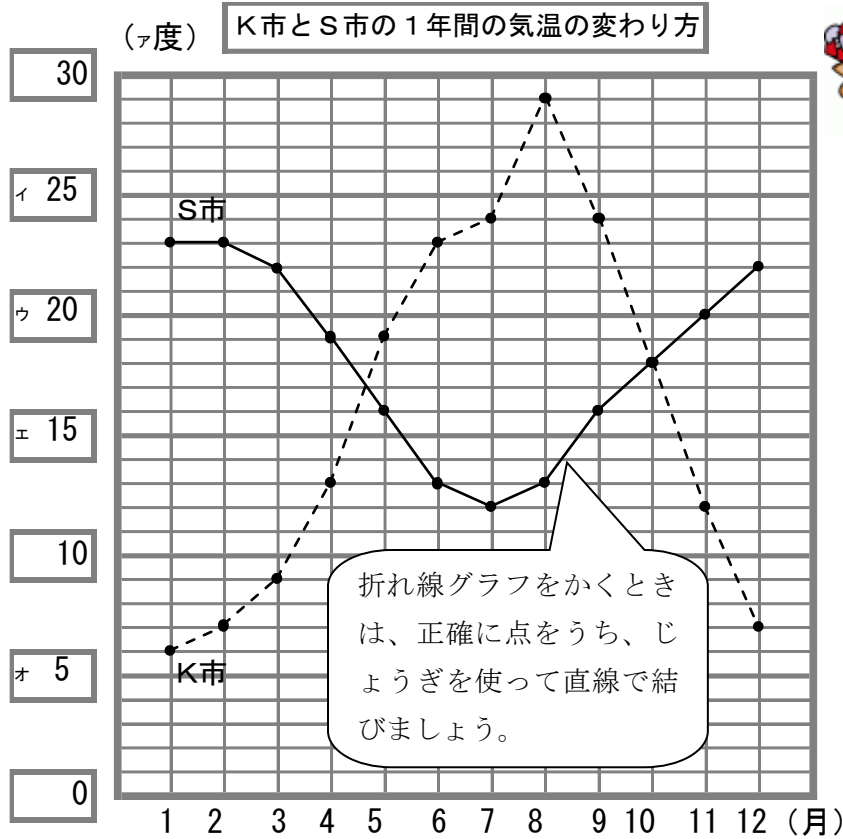
- ・1月から8月までは気温が上がっていて、その後は下がっている。
- ・3月から6月にかけて、気温が大きく上がっている。
- ・9月からは、気温が毎月下がっている。
- ・9月と10月、10月と11月の間は、気温が毎月6度下がり、かたむきが急だ。 など

( )年 ( )組 ( )番

名前 ( )

1 下の折れ線グラフは、K市の1年間の気温の変わり方を表しています。グラフの「ア」～「オ」に当てはまる数字や言葉を書きましょう。(10点×5問)

点



2 下の表を見て、S市の気温の変わり方を折れ線グラフに表しましょう。

S市の1年間の気温の変わり方

はかった月 (月)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
気温 (度)	23	23	22	19	16	13	12	13	16	18	20	22

(1) 1月から順に、気温を表す点をうちましょう。(20点)

(2) (1) でうった点と点を、直線でつなぎましょう。(10点)

3 K市とS市の2つのグラフを見て、気温の変わり方について気づいたことを書きましょう。(20点)

解答例 (1つ書けたら10点、2つ以上書けたら、20点とします。)

- ・ K市は8月にかけて気温が上がっていて、その後気温が下がっている。
- ・ S市は7月にかけて気温が下がっていて、その後気温が上がっている。
- ・ K市とS市は、グラフの形がさかさまになっている。 など

( )年( )組( )番

名前( )

1 次の問題に答えましょう。(8問×10点)

(1) 折れ線グラフで表すとよいものを、3つ選びましょう。



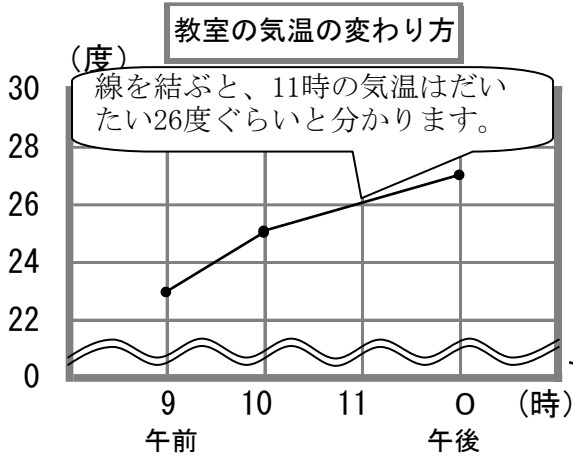
Blank box for score, with the character '点' (point) written at the bottom right.

- ① 1か月ごとに調べた自分の身長
- ② ある1日の学級ごとの欠席者の数
- ③ 1時間ごとに調べたプールの水溫
- ④ 1週間ごとに調べたヘチマのくきの長さ
- ⑤ 学級で調べた「一番好きな給食」についての人数

変わり方を表すときに、折れ線グラフを使うと分かりやすい。

答え( ① と ③ と ④ )

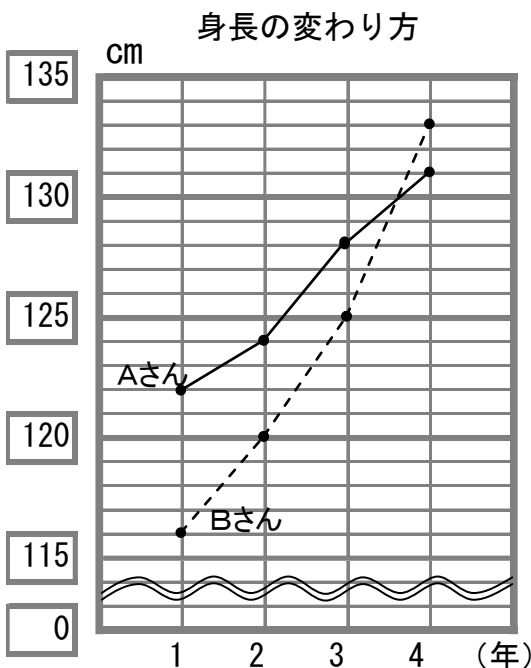
(2) グラフを見て答えましょう。



- ① たてじくは、何を表していますか。( 気温 )
- ② たてじくの1目もりは、何度を表していますか。( 2度 )
- ③ 横じくは、何を表していますか。( 時こく )
- ④ 10時と午後0時の点を直線で結びましょう。
- ⑤ 11時の気温は何度くらいですか。( 26度くらい )

メモりのとちゅうを省くこともあります。

2 グラフを見て、2人の身長変わり方について気づいたことを書きましょう。(20点)



解答例(1つ書けたら10点、2つ以上書けたら20点とします。)

- ・Aさんの方が身長が高かったけど、4年生になったら、Bさんの方が高くなった。
- ・Aさんの身長の伸び方は、ゆるやか。
- ・Bさんの身長の伸び方は、急。
- ・Aさんは122cmから131cmで9cmのびている。
- ・Bさんは116cmから133cmで17cmのびている。

など



( )年 ( )組 ( )番  
名前 ( )

かずおさんは自分のクラス4年2組の好きな主食とデザートについてみんなにアンケートをとり、調べることにしました。次の表は、その結果を表にまとめたものです。表をよく見て、次の問題に答えましょう。

点

4年2組の好きな主食とデザート

	フルーツポンチ	れいとうミカン	プリン	ゼリー	ヨーグルト	合計(人)
カレーライス	7	2	㉞ 3	2	1	15
あげパン	㉝ 4	2	2	2	0	10
うどん	3	2	0	1	2	㉜ 8
わかめごはん	0	3	2	㉚ 0	1	6
合計(人)	14	㉟ 9	7	5	4	39

1 次の問題に答えましょう。(10点×8問)

(1) 上の表のあいている㉞～㉟に人数を入れて表を完成させましょう。

㉞  $15 - (7 + 2 + 2 + 1) = 3$     ㉝  $10 - (2 + 2 + 2) = 4$

㉜  $3 + 2 + 0 + 1 + 2 = 8$     ㉚  $6 - (3 + 2 + 1) = 0$     ㉟  $2 + 2 + 2 + 3 = 9$

(2) カレーライスが好きな人は何人いますか。

答え 15人

(3) うどんが好きで、れいとうミカンが好きな人は何人いますか。

答え 2人

(4) 4年2組は全部で何人いるクラスですか。主食の合計からもとめましょう。

式)  $15 + 10 + 8 + 6 = 39$

答え 39人

(5) (4)の答えが正しいかどうかをデザート合計で確かめましょう。(20点)

式) フルーツポンチ  $7 + 4 + 3 = 14$     プリン  $3 + 2 + 2 = 7$

ゼリー  $2 + 2 + 1 = 5$     ヨーグルト  $1 + 2 + 1 = 4$     それぞれの合計を合わせると  $14 + 9 + 7 + 5 + 4 = 39$

【※表をたてに見るといいね。デザートそれぞれの合計を出そう。】



( )年 ( )組 ( )番  
名前 ( )

のりおさんはクラス **39人** みんなに4年2組の好きな遊びについて男女別でアンケートをとり、調べることにしました。次の表は、その結果を表にまとめたものです。表をよく見て、次の問題に答えましょう。

4年2組の好きな遊び

	男子	女子	合計 (人)
ドッジボール	㉞ 11	3	14
おにごっこ	5	<b>3</b>	㉟ 8
てつぼう	2	㉡ 5	<b>7</b>
なわとび	2	8	㉢ 10
合計 (人)	㉣ 20	19	<b>39</b>

点



1 次の問題に答えましょう。(10点×8問)

(1) 上の表のあいている㉞～㉣に人数を入れて表を完成させましょう。

【解説】クラスの人気は問題文の最初に書いてあるぞ。問題をよく読もう。

㉞  $14 - 3 = 11$     ㉟  $5 + 3 = 8$     ㉡  $7 - 2 = 5$

㉢  $39 - (14 + 8 + 7) = 10$     ㉣  $39 - 19 = 20$

(2) おにごっこが好きな女の子は何人いますか。      答え 3人

(3) てつぼうが好きな人は全部で何人いますか。      答え 7人

(4) 男子が一番好きな遊びは何ですか。      答え ドッジボール

※男子は全部で20人しかいないので、半分以上いるドッジボールで決まりだね。

2 のりおさんは「なわとびの好きな人」は聞かなかったのに、男子は2人、女子は8人と分かっていました。その理由を言葉や式を使って説明しましょう。(20点)

【解答例】：言葉でも式でもいいよ。相手に分かるように説明できることが大切なんだ。

- ・男子の合計も女子の合計も分かっているので、合計から分かっているところを引くと残りがなわとびの好きな人の数になるから。
- ・男子は、 $20 - (11 + 5 + 2) = 2$ 、女子は $19 - (3 + 3 + 5) = 8$ となってそれぞれの人数が分かるから

( )年( )組( )番  
名前( )

ひろのさんはクラスみんな **39** 人の家庭学習の時間に疑問を持ち、本当に 40 分以上やっているのかどうか土曜日と日曜日の実際に勉強した時間を調べて表にまとめてみました。

点

		土曜日		合計
		㊦ した	しない	
㊧ 日曜日	した	<b>18</b>	11	<b>29</b>
	㊨ しない	5	<b>5</b>	<b>10</b>
合計		<b>23</b>	16	<b>39</b>



1 次の問題によく読んで答えましょう。

(1) 上の表の㊦～㊨に言葉を入れましょう。(10点×5問)

(2) まず、みんなに「土曜日も日曜日も40分以上勉強した人。」と聞いたら **18** 人いました。表の中にこの人数を書き入れましょう。(10点)

(3) 次に、「土曜日も日曜日も40分以上しなかった人」と聞いたら **5** 人いました。表の中にこの人数を書き入れましょう。(10点)

2 最後に「土曜日は関係なく、日曜日40分以上勉強した人。」と聞いたら **29** 人でした。するとまさのさんは「土曜日は勉強やったんだけどその人は調べないの?」と言うと、ひろのさんは「もう分かったからいいんだ。」と言いました。

(1) 表の中にこの人数を書き入れましょう。(10点)

(2) **土曜日40分以上勉強した人数**を式や言葉で説明しながら求めましょう。(20点)

【解説】問題をよく読んで、クラス合計の数 **39** を入れることがポイントだね。

表のどこを求めるのかを最初につかんで、見通しをもって順序よく解決していこう。

解答例：まず、日曜日の合計から  $39 - 29 = 10$  で日曜日しない人が **10** 人。

次に日曜日勉強しない人に注目して  $10 - 5 = 5$  で土曜日はしたけど日曜日しなかった人数が **5** 人。

最後に土曜日勉強した人数をあわせると  $18 + 5 = 23$  で答えは **23** 人。

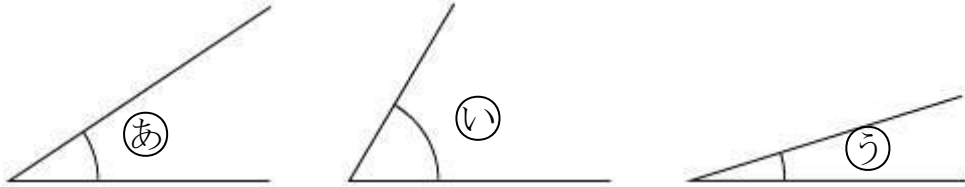


( )年 ( )組 ( )番  
名前 ( )

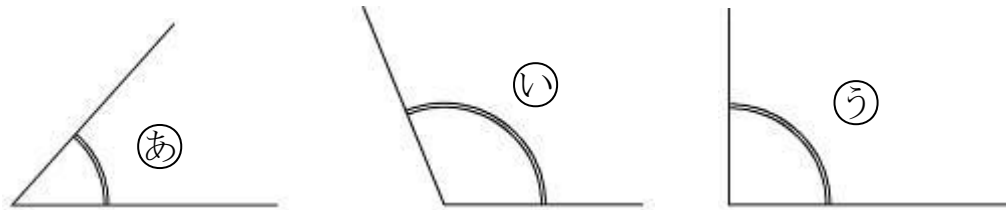
1 次の問題に答えましょう。(10点×2問)

① 1番大きな角はどれですか。㉠～㉣から選び答えましょう。(10)

点



② 直角になっているのはどれですか。㉠～㉣から選び答えましょう。(10)



2 ( )に数を入れて文や式を完成させましょう。(10点×6問)

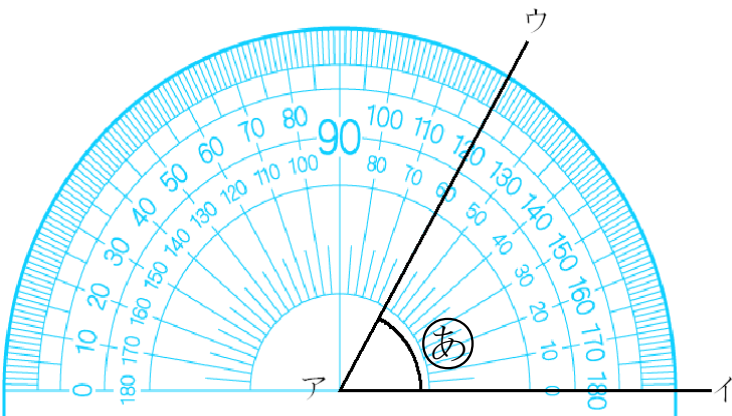
① 直角を( 90 )に等分したときの1つ分を1度 [いちど] と読み、  
( 1° )と書く。

② 下の式を完成させましょう。

- 1 直角 = ( 90 ) 度
- 2 直角 (半回転) = ( 180 ) 度
- 3 直角 = ( 270 ) 度
- 4 直角 (一回転) = ( 360 ) 度



3 分度器を使って、㉠の角の大きさをはかります。どんなことに気をつけてはかればいいですか。はかり方を説明しましょう。(20点)



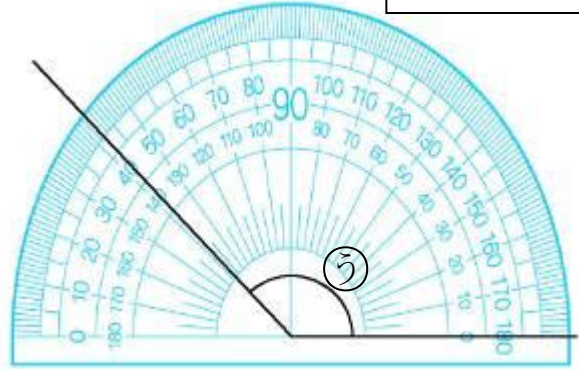
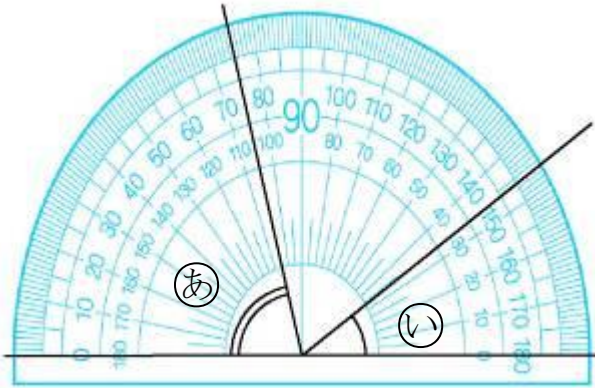
- ① 分度器の中心をちょう点アにあわせる。
- ② 直線アイに0°の線を合わせる。
- ③ 直線アウのところのめもり(90より小さいめもり)をよむ。(60°)



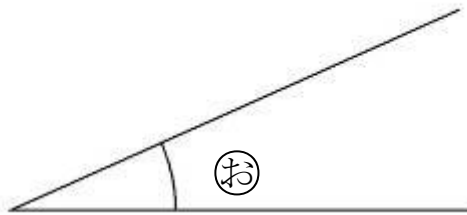
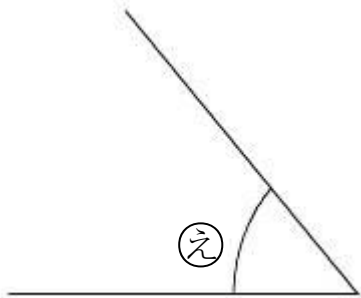
( )年 ( )組 ( )番  
名前( )

1 いろいろな角の大きさを調べました。次の角の大きさを  
答えましょう。(10点×8問)

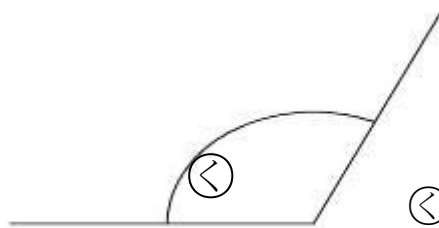
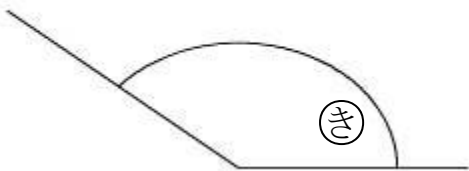
点



あ ( 75° ) い ( 34° ) う ( 138° )



え ( 51° ) お ( 24° ) か ( 68° )

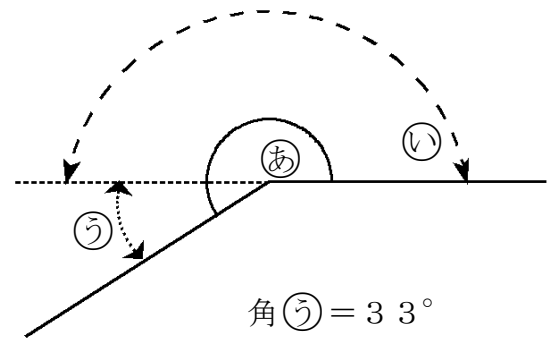


き ( 146° ) く ( 121° )

2 ④の角の大きさを工夫して求めましょう。ま  
た、求め方を言葉や式で説明しましょう。

(20点)

- ①③の角の大きさは33°です。
- ②⑥の角の大きさは180°です。
- ③角④と角⑤を合わせると  
180 + 33 = 213



答え ( 213° )

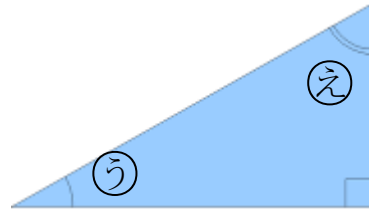
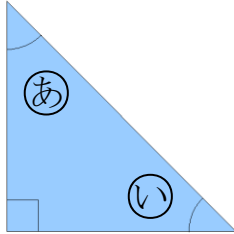




( )年 ( )組 ( )番  
名前( )

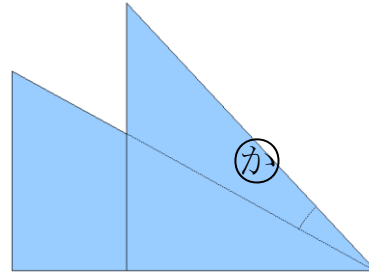
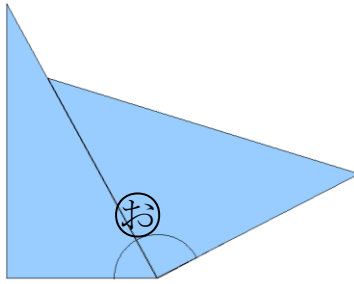
1 三角じょうぎの角の大きさについて答えましょう。(10点×4問)

点



あ ( 45° ) い ( 45° ) う ( 30° ) え ( 60° )

2 三角じょうぎ2枚を使ってできる角の大きさを求めましょう。(10点×4問)



おの角の大きさ

式 (  $60 + 90 = 150$  )

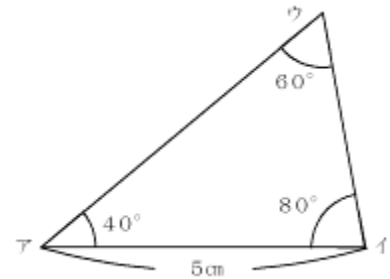
こたえ ( 150° )

かの角の大きさ

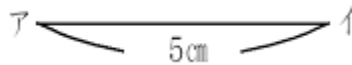
式 (  $45 - 30 = 15$  )

こたえ ( 15° )

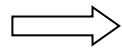
3 右の図のような三角形アイウをかきましょう。また、  
どのようにかいたのか説明もしましょう。(20点)



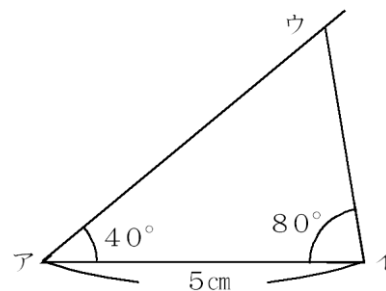
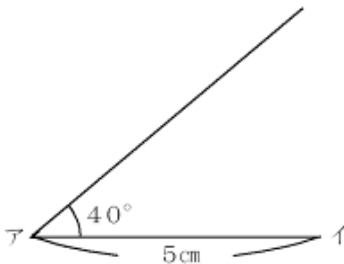
①辺アイを引く。



②頂点アから40°の角をかく。



③頂点イから80°の角をかき、  
交点をウとする。



※①→③→②の順でも正解。  
(ウの角はつかいません。)

( )年( )組( )番

名前( )

1 次の問題を計算しましょう。(10点×8問)

2 けた÷1けた=2けた の問題です。



	点
--	---

① 
$$\begin{array}{r} 18 \\ 2 \overline{) 36} \\ \underline{2} \phantom{0} \\ 16 \\ \underline{16} \\ 0 \end{array}$$

② 
$$\begin{array}{r} 25 \\ 3 \overline{) 75} \\ \underline{6} \phantom{0} \\ 15 \\ \underline{15} \\ 0 \end{array}$$

①たてる→②かける→  
③ひく→④おろす  
の手順で計算する。

0をわすれずに。

③ 
$$\begin{array}{r} 15 \\ 4 \overline{) 60} \\ \underline{4} \phantom{0} \\ 20 \\ \underline{20} \\ 0 \end{array}$$

5-5=0  
この0は書かずに9をおろす。

④ 
$$\begin{array}{r} 11 \\ 5 \overline{) 59} \\ \underline{5} \phantom{0} \\ 9 \\ \underline{5} \\ 4 \end{array}$$

わる数より小さいので、もう計算できない。

⑤ 
$$\begin{array}{r} 10 \\ 8 \overline{) 82} \\ \underline{8} \phantom{0} \\ 2 \end{array}$$

⑥ 
$$\begin{array}{r} 24 \\ 3 \overline{) 74} \\ \underline{6} \phantom{0} \\ 14 \\ \underline{12} \\ 2 \end{array}$$

⑦ 
$$\begin{array}{r} 16 \\ 6 \overline{) 99} \\ \underline{6} \phantom{0} \\ 39 \\ \underline{36} \\ 3 \end{array}$$

⑧ 
$$\begin{array}{r} 11 \\ 7 \overline{) 80} \\ \underline{7} \phantom{0} \\ 10 \\ \underline{7} \\ 3 \end{array}$$

2 商が十の位からたつのは、□の中にどんな数字が入るときか説明しましょう。(20点)

$5 \overline{) \square 6}$

(説明) わる数が5なので、十の位に商がたつには□に5か、それより大きい数字が入るときです。なので、□には5, 6, 7, 8, 9が入ります。

1 次の問題を計算しましょう。(10点×8問)



	点
--	---

①

$$\begin{array}{r} 156 \\ 3 \overline{) 469} \\ \underline{3} \phantom{00} \\ 16 \phantom{0} \\ \underline{15} \phantom{0} \\ 19 \phantom{0} \\ \underline{18} \phantom{0} \\ 1 \phantom{0} \end{array}$$

②

$$\begin{array}{r} 188 \\ 4 \overline{) 752} \\ \underline{4} \phantom{00} \\ 35 \phantom{0} \\ \underline{32} \phantom{0} \\ 32 \phantom{0} \\ \underline{32} \phantom{0} \\ 0 \end{array}$$

3けたの筆算も、  
①たてる→②かける→③ひく→④おろす  
の手順で計算する。

あまりが、わる数より小さいか確認を  
しましょう。

③

$$\begin{array}{r} 115 \\ 7 \overline{) 807} \\ \underline{7} \phantom{00} \\ 10 \phantom{0} \\ \underline{7} \phantom{00} \\ 37 \phantom{0} \\ \underline{35} \phantom{0} \\ 2 \phantom{0} \end{array}$$

15 - 15 = 0  
この0は、書か  
ない。

④

$$\begin{array}{r} 131 \\ 5 \overline{) 659} \\ \underline{5} \phantom{00} \\ 15 \phantom{0} \\ \underline{15} \phantom{0} \\ 9 \phantom{0} \\ \underline{5} \phantom{0} \\ 4 \end{array}$$

⑤

$$\begin{array}{r} 212 \\ 2 \overline{) 425} \\ \underline{4} \phantom{00} \\ 2 \phantom{00} \\ \underline{2} \phantom{00} \\ 5 \phantom{0} \\ \underline{4} \phantom{0} \\ 1 \end{array}$$

⑥

$$\begin{array}{r} 206 \\ 4 \overline{) 824} \\ \underline{8} \phantom{00} \\ 24 \phantom{0} \\ \underline{24} \phantom{0} \\ 0 \end{array}$$

0をたてる  
のをわすれ  
ずに!

⑦

$$\begin{array}{r} 166 \\ 6 \overline{) 996} \\ \underline{6} \phantom{00} \\ 39 \phantom{0} \\ \underline{36} \phantom{0} \\ 36 \phantom{0} \\ \underline{36} \phantom{0} \\ 0 \end{array}$$

⑧

$$\begin{array}{r} 109 \\ 7 \overline{) 765} \\ \underline{7} \phantom{00} \\ 65 \phantom{0} \\ \underline{63} \phantom{0} \\ 2 \end{array}$$

2 ある数を6でわると、商が73で5あまりでした。この数を9でわったときの商とあまりを求めましょう。(20点)

**たしかめ算** わる数×商+あまり=わられる数

ある数を□とすると、 $\square \div 6 = 73$ あまり5 と表せます。□はわられる数です。

最初に、たしかめ算の式を使ってある数を求めます。 $6 \times 73 + 5 = 443$

次に、 $443 \div 9$ の計算をします。 $443 \div 9 = 49$ あまり2

(答え) 商は49で、2あまる。

( )年 ( )組 ( )番  
名前 ( )

1 次の問題を計算しましょう。(10点×8問)

百の位に商がたたない計算です。



	点
--	---

①

$$\begin{array}{r} 84 \\ 3 \overline{) 252} \\ \underline{24} \phantom{0} \\ 12 \\ \underline{12} \\ 0 \end{array}$$

②

$$\begin{array}{r} 54 \\ 4 \overline{) 216} \\ \underline{20} \phantom{0} \\ 16 \\ \underline{16} \\ 0 \end{array}$$

①たてる→②かける→③ひく→④おろす  
の手順で計算する。

百の位に商がたたないときは、0は書か  
ないようにします。

③

$$\begin{array}{r} 63 \\ 5 \overline{) 317} \\ \underline{30} \phantom{0} \\ 17 \\ \underline{15} \\ 2 \end{array}$$

④

$$\begin{array}{r} 92 \\ 7 \overline{) 649} \\ \underline{63} \phantom{0} \\ 19 \\ \underline{14} \\ 5 \end{array}$$

⑤

$$\begin{array}{r} 63 \\ 2 \overline{) 127} \\ \underline{12} \phantom{0} \\ 7 \\ \underline{6} \\ 1 \end{array}$$

⑥

$$\begin{array}{r} 81 \\ 4 \overline{) 324} \\ \underline{32} \phantom{0} \\ 4 \\ \underline{4} \\ 0 \end{array}$$

⑦

$$\begin{array}{r} 50 \\ 8 \overline{) 406} \\ \underline{40} \phantom{0} \\ 6 \end{array}$$

⑧

$$\begin{array}{r} 60 \\ 9 \overline{) 540} \\ \underline{54} \phantom{0} \\ 0 \end{array}$$

2 次の筆算の□～○の中に入る数字を求めましょう。(20点)

$$\begin{array}{r} \square \square \\ 3 \overline{) 1\square\square} \\ \underline{9} \phantom{0} \\ 17 \\ \underline{\square 5} \\ 2 \end{array}$$

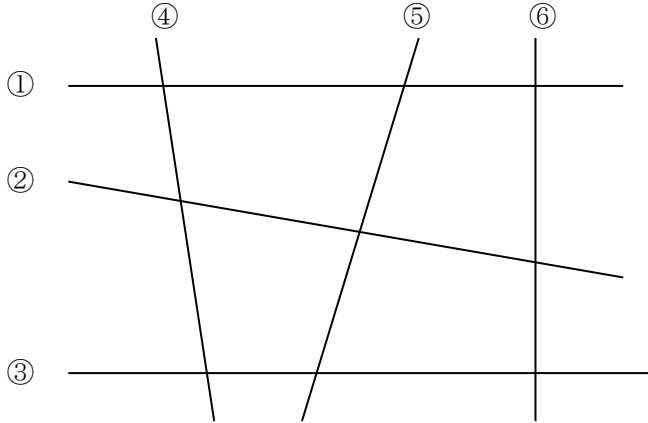
(考え方)

- は、 $3 \times \square = 9$ から、 $\square = 3$ と分かります。
- は、 $1\square - 9 = 1$ から、 $\square = 0$ と分かります。
- △は、△をおろした数が7なので、 $\triangle = 7$ と分かります。
- ◇は、 $17 - \square 5 = 2$ から、 $\square = 1$ と分かります。
- ◇は、 $3 \times \square = 15$ から、 $\square = 5$ と分かります。

※分かるところから考えてうめていきましょう。求める  
順じよはいくつかあります。

模範解答

1 下の図について、三角定規を使って調べ、問題に答えましょう。(30点)



点

(1) 平行になっている直線は、どれとどれですか。

( ① と ③ )

(2) 垂直になっている直線は、どれとどれですか。

( ① と ⑥ )

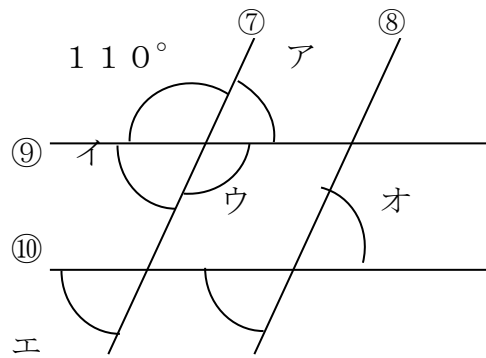
( ③ と ⑥ )

2 ⑦、⑧の直線、⑨、⑩の直線は、それぞれ平行です。ア、イ、ウ、エ、オの角度は、それぞれ何度ですか。(50点)

ア ( 70 ) 度    イ ( 70 ) 度

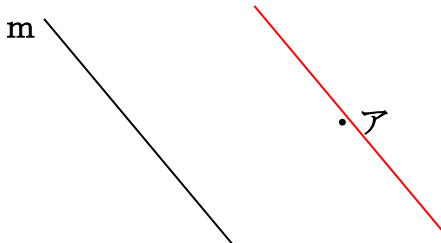
ウ ( 110 ) 度    エ ( 70 ) 度

オ ( 70 ) 度



3 三角定規を使って、次の直線を引きましょう。(20点)

点アを通過して直線mに平行な直線



1 次の□にあてはまる図形の名前を書きましょう。(30点)

(1) 向かいあう辺が2組とも平行になっている四角形は 平行四辺形、 です。

(2) 向かいあう1組の辺が平行な四角形は 台形 です。

(3) 4つの辺の長さがみな等しい四角形は ひし形 です。

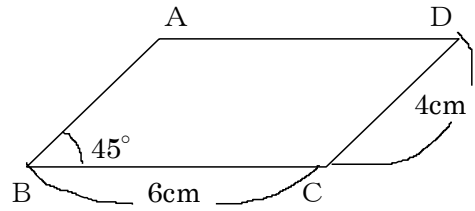


2 右の平行四辺形について答えましょう。(30点)

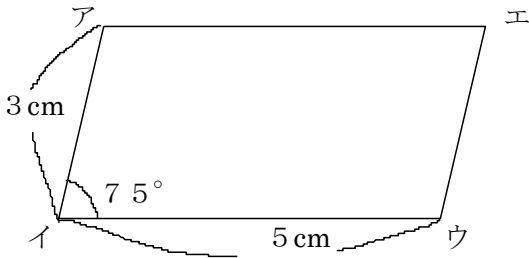
(1) 辺ABは何cmですか。( 4 cm )

(2) 角Dは何度ですか。( 45° )

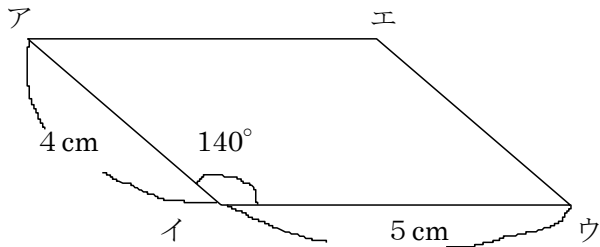
(3) 角Aは何度ですか。( 135° )



3 左の図のような平行四辺形をかきましょう。(20点)



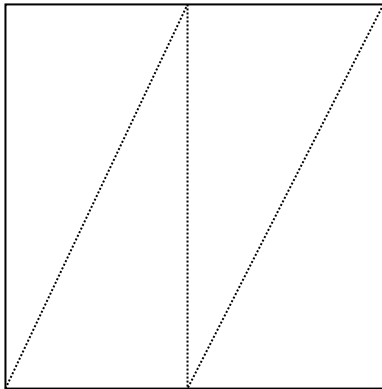
解答略



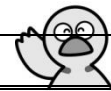
解答略

4 折り紙を下の図のように4つに切り、つくりかえるといろいろな四角形ができます。

その四角形の名前を二つ以上かきましょう。(20点)

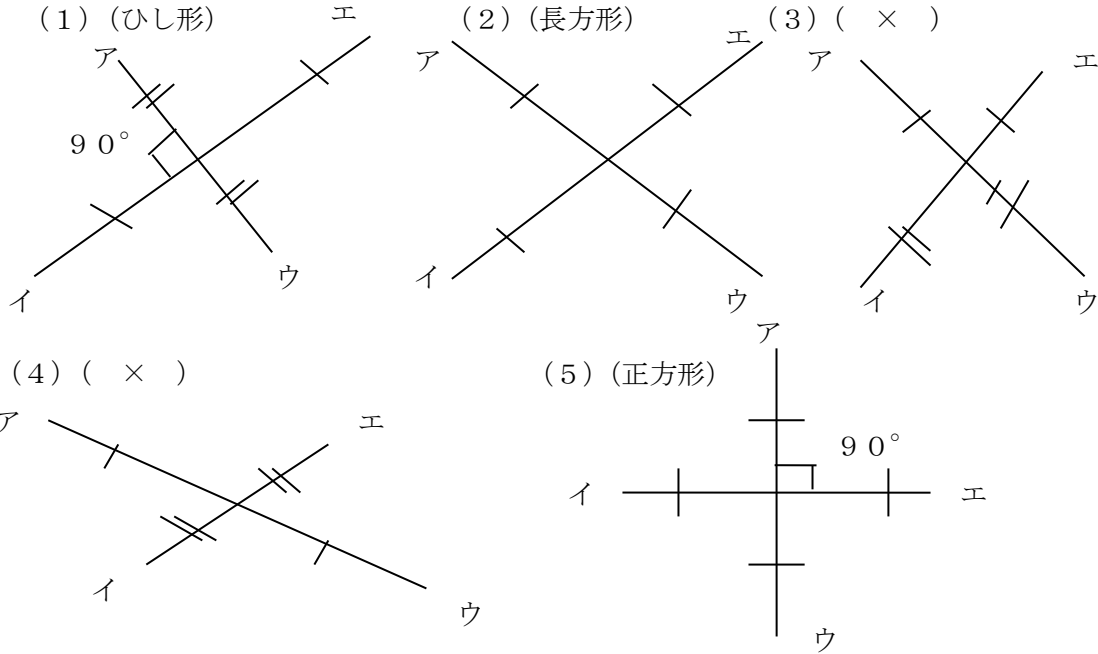


長方形 平行四辺形 台形  
ひし形

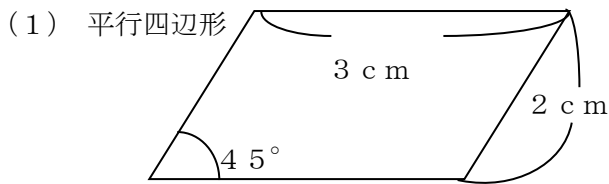


1 次の(1)～(5)の図のアイウエを順にむすんでできる四角形で、正方形、長方形、ひし形にあたるものをそれぞれえらびなさい。

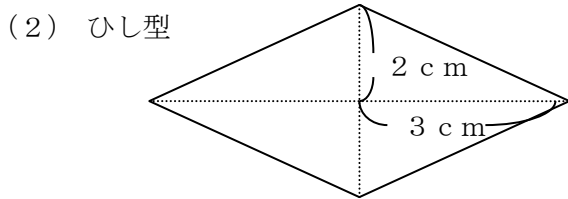
また、そのどれにもあてはまらないものには×をかきなさい。(50点)



2 下の図のような四角形をかきましょう。(30点)



解答略

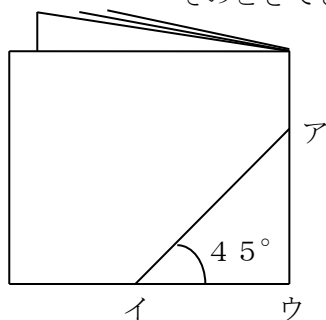


(3) 対角線の長さが4 cmの正方形

3 図のように折り紙を4つに折りました。ア、イで切って、切り取った三角形アイウの部分を広げました。

そのときできる図形を答えなさい。

(そう答えた理由も答えなさい。) (20点)



正方形

三角形アイウを広げるとできる四角形は、4つの辺の長さが同じで、4つの角が90°であるから。



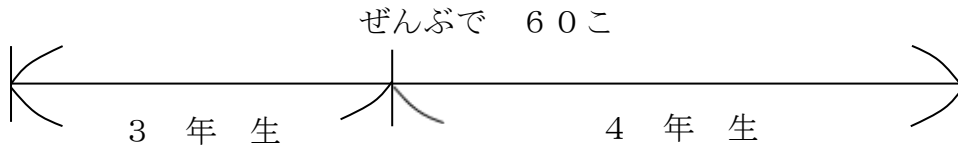
模範解答

( ) 年 ( ) 組 ( ) 番  
名前 ( )

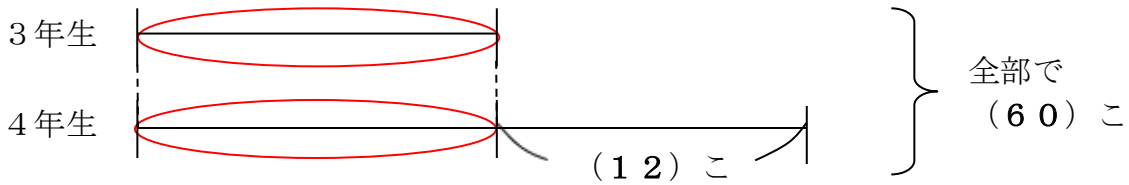
1 次の問題に答えましょう。

3年生と4年生は、音楽会のために、お花を60こ作ります。  
4年生のほうが、12こ多く作るようにします。  
それぞれ作るお花の数は、何こになりますか。

点



(1) 2つに分けると、次の図のようになりました。( ) にあてはまる数字を書きましょう。(2問×10点)



(2) ○ の部分は、合わせて何こですか。計算して求めましょう。(2問×10点)

(式)  $60 - 12$

答え 48こ

(3) 3年生のお花の数は、何こですか。(2問×10点)

(式)  $48 \div 2$

答え 24こ

(4) 3年生のお花の数を求めるときに、2でわるのはなぜですか。理由を説明しましょう。(20点)

(理由)  
○の部分は、それぞれ同じ数なので、1つ分を求めるには、2でわればよいから

(5) 4年生のお花の数は、何こですか。(2問×10点)

(式)  $24 + 12$

答え 36こ





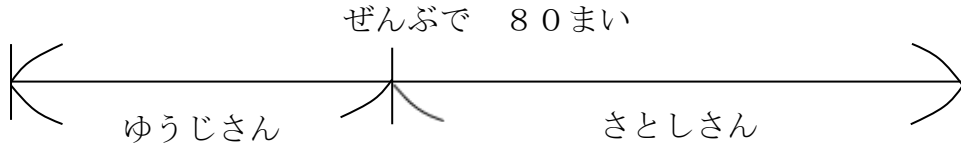
模範解答

( ) 年 ( ) 組 ( ) 番  
名前 ( )

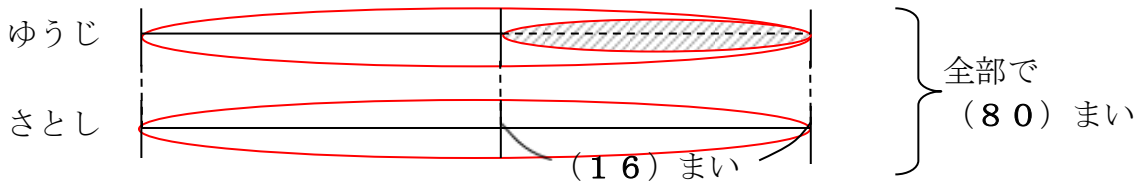
1 次の問題に答えましょう。

ゆうじさんとさとしさんは、シールを80まい持っています。  
さとしさんのほうが、16まい多くシールを持っています。  
2人は、それぞれシールを何まい持っていますか。

点



(1) 2つに分けると、次の図のようになりました。( ) にあてはまる数字を書きましょう。(2問×10点)



(2) (16) の部分は、合わせて何まいですか。計算して求めましょう。(2問×10点)

(式)  $80 + 16$

答え 96まい

(3) さとしさんのシールは、何まいですか。(2問×10点)

(式)  $96 \div 2$

答え 48まい

(4) ゆうじさんのシールは、何まいですか。(2問×10点)

(式)  $48 - 16$

答え 32まい

(5) たろうさんは、この問題を次のようにまちがえてしまいました。どうして、まちがっているか、説明しましょう。(20点)

(式)  $80 \div 2 = 40$   
 $40 - 16 = 24$   
 $40 + 16 = 56$   
 答え ゆうじさん24まい、  
さとしさん56まい

(説明) 例  
 ①図を見ると、2人の数は同じではないから  
 2でわってはいけない  
 ②2人の差が、16まいになっていないから  
 ※どちらか書けていれば可

( )年 ( )組 ( )番

模範解答

名前 ( )

1 数字で書きましょう。(10点×3問)

(1) 一億二千七百六十九万二千

答え ( 1 2 7 6 9 2 0 0 0 )

(2) 六十五億九千二百九十万七千五百

答え ( 6 5 9 2 9 0 0 7 0 5 )

(3) 三兆八百八十万九十三

答え ( 3 0 0 0 0 0 8 8 0 0 0 9 3 )



点

2 次の数を読み、漢字で書きましょう。(10点×3問)

(1) 1 4 9 5 9 7 8 7 0

答え ( 一億四千九百五十九万七千八百七十 )

(2) 2 8 0 4 0 0 3 0 0 5 0

答え ( 二百八十億四千三万五千 )

(3) 9 2 2 9 9 2 0 0 0 0 0 0 0 0

答え ( 九十二兆二千九百九十二億 )

3 ( )にあてはまる数を書きましょう。(10点×2問)

(1) 1億を290こ集めた数は、( 2 9 0 0 0 0 0 0 0 0 0 )です。

(2) 45600000000は、1000万を( 4 5 6 )こ集めた数です。

4 3560089768を読むために、コバトンは、下の図のようにほじょ線を入れて読むとまちがえないよと教えてくれました。どうしてでしょう。言葉で説明しましょう。

(20点)

3 5 | 6 0 0 8 | 9 7 6 8

説明

大きな数は、「一、十、百、千」と4けたごとに位が変わります。そして、4けたあつまるとに「万、億、兆」となっていくます。だから、4けたごとにくざると、まちがいが少なくなります。

模範解答

名前 ( )

1 次の数を数字で書きましょう。(10点×4問)

(1) 10億を8こと, 100万を5こ合わせた数

答え ( 8005000000 )

点

(2) 1兆を3こと, 10億を2こと, 1万を1こを合わせた数

答え ( 3002000010000 )

(3) 70億の100倍

答え ( 7000000000000 )

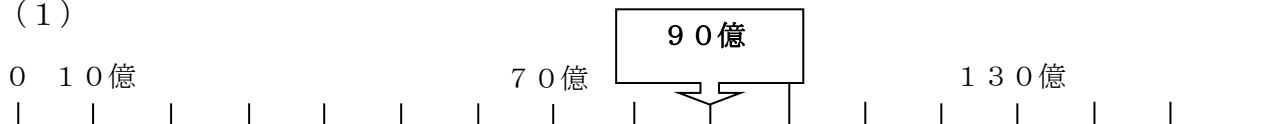
(4) 6兆の $\frac{1}{10}$

答え ( 600000000000 )

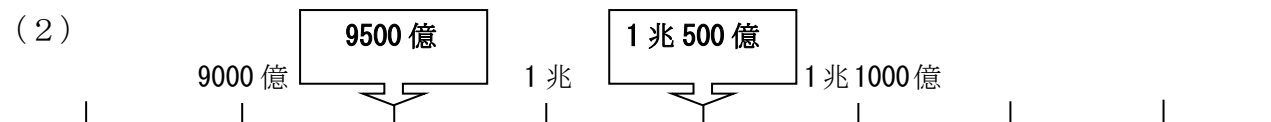


2 数直線で□にあてはまる数を書きましょう。(10点×4問)

(1)



(2)



(3)



3 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 のカードを1回ずつ使って、10けたの数を作ります。50億に一番近い数をつくりましょう。(20点)

50億より大きくて、いちばん近い数は、5012346789

50億より小さくて、いちばん近い数は、4987653210

それぞれ50億との差をもとめると

$$5012346789 - 5000000000 = 12346789$$

$$5000000000 - 4987653210 = 12346790$$

だから、いちばん近い数は、5012346789

答え 5012346789

模範解答

名前 ( )

1 下の数について答えましょう。(10点×4問)

7803600000000

点

(1) 3は何のくらいですか。

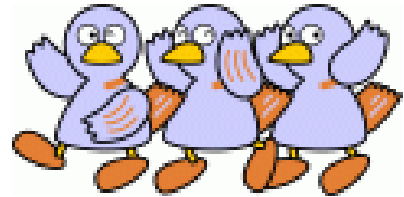
答え ( 十億の位 )

(2) 7は何が7こあることをあらわしていますか。

答え ( 一兆 )

(3) この数は1億がいくつあるといえますか。

答え ( 78036 )



(4) この数を $\frac{1}{100}$ した数を書きましょう。

答え ( 78036000000 )

2 筆算で工夫してもとめましょう。(10問×2点)

(1)  $4600 \times 8600$

$$\begin{array}{r} 4600 \\ \times 8600 \\ \hline 27600 \\ 368000 \\ \hline 39560000 \end{array}$$

(2)  $3700 \times 840$

$$\begin{array}{r} 3700 \\ \times 840 \\ \hline 14800 \\ 296000 \\ \hline 3108000 \end{array}$$

3 387兆と536兆の和と差を求めましょう。(10点×2問)

(和)

$$\begin{array}{r} 387兆 \\ + 536兆 \\ \hline 923兆 \end{array}$$

答え ( 923兆 )

(差)

$$\begin{array}{r} 536兆 \\ - 387兆 \\ \hline 149兆 \end{array}$$

答え ( 149兆 )

4 次の筆算はまちがっています。どこがまちがっているか説明しましょう。(20点)

$$\begin{array}{r} 68000 \\ \times 42000 \\ \hline 136000 \\ 272000 \\ \hline 2856000 \end{array}$$

68000は68の1000倍, 42000は42の1000倍だから、 $68000 \times 42000$ の答えは、 $68 \times 42$ の1000000倍になる。  
しかし、左の筆算は、 $68 \times 42$ の答えに1000倍しかしていない。



( )年 ( )組 ( )番  
名前 ( )

1 次の問題を計算しましょう。(10点×8問)

①  $90 \div 30 = 3$

$$\begin{array}{r} 3 \\ 30 \overline{) 90} \\ \underline{90} \\ 0 \end{array}$$

②  $300 \div 50 = 6$

$$\begin{array}{r} 6 \\ 50 \overline{) 300} \\ \underline{300} \\ 0 \end{array}$$

点

③  $70 \div 30 = 2$  あまり 10

$$\begin{array}{r} 2 \\ 30 \overline{) 70} \\ \underline{60} \\ 10 \end{array}$$

④  $250 \div 80 = 3$  あまり 10

$$\begin{array}{r} 3 \\ 80 \overline{) 250} \\ \underline{240} \\ 10 \end{array}$$

⑤ 
$$\begin{array}{r} 4 \\ 21 \overline{) 85} \\ \underline{84} \\ 1 \end{array}$$

⑥ 
$$\begin{array}{r} 3 \\ 19 \overline{) 58} \\ \underline{57} \\ 1 \end{array}$$

⑦ 
$$\begin{array}{r} 3 \\ 30 \overline{) 94} \\ \underline{90} \\ 4 \end{array}$$

⑧ 
$$\begin{array}{r} 1 \\ 62 \overline{) 84} \\ \underline{62} \\ 22 \end{array}$$

2 花子さんは、いくつかあめを持っています。21人で同じ数ずつ分けると、1人分は3こになり、13こあまります。花子さんがはじめに持っていたあめはいくつですか。(20点)

(式)  $\square \div 21 = 3$  あまり 13  
 $21 \times 3 + 13 = 76$

答え ( 76こ )



( )年 ( )組 ( )番  
名前 ( )

1 次の問題を計算しましょう。(10点×8問)

	点
--	---

① 
$$\begin{array}{r} 3 \\ 18 \overline{) 62} \\ \underline{54} \\ 8 \end{array}$$

② 
$$\begin{array}{r} 2 \\ 42 \overline{) 87} \\ \underline{84} \\ 3 \end{array}$$

③ 
$$\begin{array}{r} 2 \\ 33 \overline{) 89} \\ \underline{66} \\ 23 \end{array}$$

④ 
$$\begin{array}{r} 1 \\ 24 \overline{) 46} \\ \underline{24} \\ 22 \end{array}$$

⑤ 
$$\begin{array}{r} 4 \\ 12 \overline{) 57} \\ \underline{48} \\ 9 \end{array}$$

⑥ 
$$\begin{array}{r} 5 \\ 18 \overline{) 94} \\ \underline{90} \\ 4 \end{array}$$

⑦ 
$$\begin{array}{r} 5 \\ 16 \overline{) 84} \\ \underline{80} \\ 4 \end{array}$$

⑧ 
$$\begin{array}{r} 4 \\ 15 \overline{) 63} \\ \underline{60} \\ 3 \end{array}$$

2 太郎さんの持っているおり紙を17人で分けると、一人に4枚ずつ分けられ、15枚あまりました。そのおり紙を13人で分けると一人に何枚ずつ分けられ、何枚あまりますか。(20点)

(式)  $\square \div 17 = 4 \text{ あまり } 15$   
 $17 \times 4 + 15 = 83$   
 $83 \div 13 = 6 \text{ あまり } 5$

$$\begin{array}{r} 6 \\ 13 \overline{) 83} \\ \underline{78} \\ 5 \end{array}$$

答え (一人に6枚ずつ分けられ、5枚あまる)



( )年 ( )組 ( )番  
名前 ( )

1 次の問題を計算しましょう。(10点×8問)

① 
$$\begin{array}{r} 8 \\ 31 \overline{) 251} \\ \underline{248} \\ 3 \end{array}$$

② 
$$\begin{array}{r} 21 \\ 13 \overline{) 275} \\ \underline{26} \\ 15 \\ \underline{13} \\ 2 \end{array}$$

点

③ 
$$\begin{array}{r} 23 \\ 33 \overline{) 789} \\ \underline{66} \\ 129 \\ \underline{99} \\ 30 \end{array}$$

④ 
$$\begin{array}{r} 47 \\ 18 \overline{) 857} \\ \underline{72} \\ 137 \\ \underline{126} \\ 11 \end{array}$$

⑤ 
$$\begin{array}{r} 10 \\ 42 \overline{) 453} \\ \underline{42} \\ 33 \end{array}$$

⑥ 
$$\begin{array}{r} 20 \\ 45 \overline{) 904} \\ \underline{90} \\ 4 \end{array}$$

2 筆算の仕方をくふうしましょう。(10点×2問)

① 
$$\begin{array}{r} 3 \\ 9 \cancel{00} \overline{) 27 \cancel{00}} \\ \underline{27} \\ 0 \end{array}$$

② 
$$\begin{array}{r} 8 \\ 5 \cancel{00} \overline{) 42 \cancel{00}} \\ \underline{40} \\ 200 \end{array}$$

100をもとにして考えると

$$2700 \div 900 = 3$$
  
↓ ÷100   ↓ ÷100  
$$27 \div 9 = 3$$

100をもとにして考えると

$$4200 \div 500 = 8 \text{ あまり } 200$$
  
↓ ÷100   ↓ ÷100   ↑ ×100  
$$42 \div 5 = 8 \text{ あまり } 2$$

3 ①、②の式を見て、わり算のきまりについて説明しましょう。(20点)

<p>① <math>6 \div 3 = \textcircled{2}</math></p> <p>↓ ×2   ↓ ×2</p> <p><math>12 \div 6 = \textcircled{2}</math></p> <p>↓ ×3   ↓ ×3</p> <p><math>36 \div 18 = \textcircled{2}</math></p>	<p>② <math>150 \div 50 = \textcircled{3}</math></p> <p>↓ ÷10   ↓ ÷10</p> <p><math>15 \div 5 = \textcircled{3}</math></p>
---	--

解答らん

わり算は、わられる数とわる数に同じ数をかけてもわっても、商は変わらない。

1 次の問題に答えましょう。(10点×8問)

(1) およそ何万人ですか。

① 65421人 (平成20年埼玉県中学校卒業生)

答え (およそ70000人)

② 7179020人 (平成22年4月埼玉県の人口)

答え (およそ7180000人)

③ 1069000人 (日本で平成21年に生まれたこどもの人数)

答え (およそ1070000人)

(2) 四捨五入して千の位までのがい数にしましょう。

① 3797km<sup>2</sup> (埼玉県の面積)

答え (およそ4000km<sup>2</sup>)

② 68450m (荒川の長さ)

答え (およそ68000m)

③ 38694けん (平成21年埼玉県交通事故の数)

答え (およそ39000けん)

(3) 四捨五入して、百の位までのがい数にすると、2500になる数すべてに○をつけましょう。

① 2410    ② 2551    ③ 2548    ④ 2450    ⑤ 2449



点

2 コバトンは、1000円持って文房具を買いに行きました。

そして、430円のはさみと125円のノート、290円の三角定規を選んだのですが、1000円で足りるか悩んでいます。

あなたが、がい数の計算で「足りる」ことを教えてあげましょう。(20点)

「足りるか」どうかを問題にしているので、それぞれの値段を切り上げてがい数にする。

430円→500円    125円→200円    290円→300円

500+200+300=1000

それぞれを高く考えて1000円になるので、実際には1000円より安いので、足りる。





( )年 ( )組 ( )番  
名前 ( )

1 次の問題に答えましょう。(10点×8問)

	点
--	---

コバトンは、子ども会42人で遠足に行く計画をたてています。  
電車で行く場合の費用と、バスを1台借りて行く場合の費用を、見積もって比べてみましょう。

1人分の電車代は、920円です。バスを1台借りると、41160円です。

バス代と子ども会の人数を、四捨五入して上から1けたのがい数にして、1人分のバス代を見積もってみましょう。( )にあてはまる言葉や数を書きましょう。

○四捨五入するのは、上から ( 2 ) けためです。

○バス代 41160円 → ( 40000 円)  
子ども会の人数 42人 → ( 40 人)

○見積もる式  
( 40000 ) ÷ ( 40 ) = ( 1000 )

○ ( 電車 ) の方が安い。

○バスを1台借りたときの、正確な1人分の代金を計算してみましょう。(各5点)  
(式) 41160 ÷ 42 = 980

(答え) 980円

※費用を比べる方法は、電車代と子ども会の人数を使って計算する方法もあるよ。  
その方法も考えてみましょう。

2 コバトンは、遠足のおみやげに下の  の中の品物を買おうと思い、代金の合計を約2000円と見当をたてました。どのように考えたのか説明しましょう。(20点)

買った品物			
タオル	575円	お菓子	320円
ぼうし	890円	キーホルダー	195円



代金を四捨五入して、百の位までのがい数にして計算した。  
 575 → 600    320 → 300    890 → 900  
 195 → 200    600 + 300 + 900 + 200 = 2000

( )年 ( )組 ( )番  
名前 ( )

1 次の問題に答えましょう。(10点×8問)

右の表は、埼玉県の幼稚園児、学校の児童、生徒の数を表したものです。

点

これをぼうグラフに表します。



埼玉県の幼稚園児、学校の児童、生徒の数(2009年)

幼稚園、学校	人数(人)
幼稚園	115501
小学校	398034
中学校	197933
高等学校	172305

( )にあてはまる言葉や数を  
書きましょう。

○ぼうグラフの1めもりは(1万)人です。だから、それぞれの人数は四捨五入して(一万)の位までの、がい数にします。四捨五入するのは(千)の位です。

○それぞれの人数を四捨五入して、(一万)の位までのがい数で表しましょう。

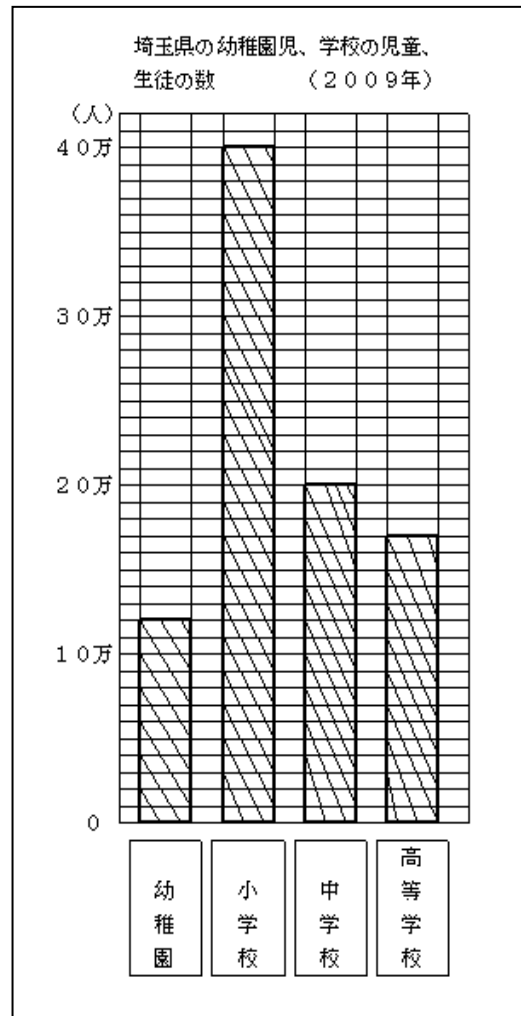
115501人→(120000人)

398034人→(400000人)

197933人→(200000人)

172305人→(170000人)

2 一万の位までのがい数にした人数を、ぼうグラフに表しましょう。(20点)





( ) 年 ( ) 組 ( ) 番  
名前 ( )

1 次の式の計算のじゅんじょを  の中に書き、答えを求めましょう。(5点×9問)

$$(1) \quad 7 \times 9 + 3 \times 2 = 63 + 6$$

$$\begin{array}{l} \boxed{\text{①}} \quad \boxed{\text{②}} \\ \quad \quad \quad \boxed{\text{③}} \end{array} = 69$$

$$(2) \quad 7 - 9 \div 3 \times 2 = 7 - 3 \times 2$$

$$\begin{array}{l} \quad \quad \quad \boxed{\text{①}} \\ \quad \quad \quad \quad \quad \boxed{\text{②}} \\ \quad \quad \quad \boxed{\text{③}} \end{array} = 7 - 6$$

$$= 1$$

$$(3) \quad 7 - (9 - 3 \times 2) = 7 - (9 - 6)$$

$$\begin{array}{l} \quad \quad \quad \quad \quad \boxed{\text{①}} \\ \quad \quad \quad \quad \quad \quad \quad \boxed{\text{②}} \\ \quad \quad \quad \quad \quad \quad \quad \quad \quad \boxed{\text{③}} \end{array} = 7 - 3$$

$$= 4$$

点
---

2 計算のじゅんじょを考えながら、次の式を計算しましょう。(10点×4問)

$$(1) \quad 9 \times 8 - 6 \div 2 = 72 - 3 \quad (2) \quad 9 \times (8 - 6 \div 2) = 9 \times (8 - 3)$$

$$= 69 \quad \quad \quad = 9 \times 5$$

$$\quad \quad \quad = 45$$

$$(3) \quad (9 \times 8 - 6) \div 2 = (72 - 6) \div 2 \quad (4) \quad 9 \times (8 - 6) \div 2 = 9 \times 2 \div 2$$

$$= 66 \div 2 \quad \quad \quad = 18 \div 2$$

$$= 33 \quad \quad \quad = 9$$

3 コバトンは文ぼう具を買いに行きました。130円のノート、150円の下じき、1本20円のえんぴつ、2つで300円のはさみを買おうと思ったのですが、なやんだ結果、下じき1まいとえんぴつ半ダースを買いました。代金はいくらになるか、1つの式に書いて、答えを求めましょう。(15点)

$$\text{式} \quad 150 + 20 \times 6 = 150 + 120$$

$$= 270$$

答え ( 270 ) 円

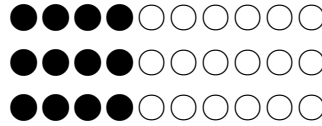


( )年( )組( )番  
名前( )

1 太郎さんと彩子さんは、下の図の●と○が、全部で何個あるかをそれぞれ別の方法で計算して求めました。

に当てはまる数を書き入れましょう。

点



(1) 太郎さんは、●の数と○の数をそれぞれ計算してから合計することにしました。(10点)

$$\begin{aligned}
 &\text{●の数} && \text{○の数} \\
 &4 \times \boxed{3} + \boxed{6} \times 3 \\
 = &\boxed{12} + \boxed{18} \\
 = &\boxed{30}
 \end{aligned}$$

(2) 彩子さんは一列の●の数と○の数を合計してから計算することにしました。(10点)

$$\begin{aligned}
 &\text{一列の●と○の数} \\
 &(\boxed{4} + \boxed{6}) \times 3 \\
 = &\boxed{10} \times 3 \\
 = &\boxed{30}
 \end{aligned}$$

2  に当てはまる数を書きましよう。(10点×4問)

- (1)  $(8 + 7) \times 5 = 8 \times \boxed{5} + 7 \times \boxed{5}$
- (2)  $(13 - 9) \times 2 = \boxed{13} \times 2 - \boxed{9} \times 2$
- (3)  $16 \times 4 = (10 + 6) \times \boxed{4}$
- (4)  $12 \times 9 = 12 \times (\boxed{10} - 1)$

3 計算のきまりを使って、工夫して計算しましょう。(10点×2問)

- (1)  $34 \times 6 + 16 \times 6$   
 $= (34 + 16) \times 6$   
 $= 50 \times 6$   
 $= 300$
- (2)  $70 \times 17 - 70 \times 12$   
 $= 70 \times (17 - 12)$   
 $= 70 \times 5$   
 $= 350$

4 彩子さんは計算のきまりを使って  $13 \times 23$  のかけ算の筆算を説明しようとしています。彩子さんに代わって続きの式を記入して説明しましょう。(20点)

$$\begin{array}{r}
 13 \\
 \times 23 \\
 \hline
 39 \\
 26 \phantom{0} \\
 \hline
 299
 \end{array}$$

$$\begin{aligned}
 13 \times 23 &= 13 \times (3 + 20) \\
 &= 13 \times 3 + 13 \times 20 \\
 &= 39 + 260 \\
 &= 299
 \end{aligned}$$



( ) 年 ( ) 組 ( ) 番  
名前 ( )

1 コバトンは、次のように工夫して計算しました。[ ]に当てはまる数を書きましょう。(5点×14問)

点

(1)  $28 \times 25$

$= (7 \times [4]) \times 25$

$= 7 \times ([4] \times 25)$

$= 7 \times [100]$

$= [700]$

(2)  $2.5 \times 2.3 \times 4$

$= 2.3 \times [2.5] \times 4$

$= 2.3 \times [10]$

$= [23]$

(3)  $103 \times 15 = (100 + 3) \times 15$

$= [100] \times 15 + [3] \times 15$

$= [1500] + 45$

$= 1545$

(4)  $99 \times 13 = (100 - [1]) \times 13$

$= [100] \times 13 - 1 \times 13$

$= 1300 - 13$

$= 1287$

(5)  $12 \times 7 + 38 \times 7 = ([12] + 38) \times 7$

$= [50] \times 7$

$= 350$

3 次の式で表される計算の答えを工夫して求めましょう。(10点×3問)

(1)  $99 \times 3$

(2)  $999 \times 7$

(3)  $10001 \times 99$

$99 \times 3$ $= (100 - 1) \times 3$ $= 100 \times 3 - 1 \times 3$ $= 300 - 3$ $= 297$	$999 \times 7$ $= (1000 - 1) \times 7$ $= 1000 \times 7 - 1 \times 7$ $= 7000 - 7$ $= 6993$	$10001 \times 99$ $= (10000 + 1) \times 99$ $= 10000 \times 99 + 1 \times 99$ $= 990000 + 99$ $= 990099$
--	---	--



( ) 年 ( ) 組 ( ) 番  
名前 ( )

1 面積を求めましょう。(10点×6問)

(1) たてが12cm、横が27cmの長方形

(式)  $12 \times 27 = 324$

(答) 324  $\text{cm}^2$

点

(2) たてが30mm、横が16cmの長方形

(式)  $30\text{mm} = 3\text{cm}$      $3 \times 16 = 48$

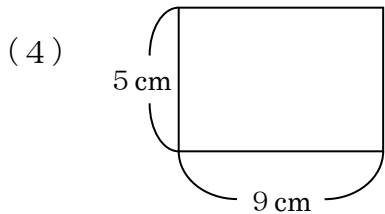
※単位をそろえて計算しよう!

(答) 48  $\text{cm}^2$

(3) 一辺が7mの正方形

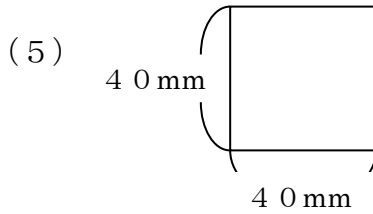
(式)  $7 \times 7 = 49$

(答) 49  $\text{m}^2$



(式)  $5 \times 9 = 45$

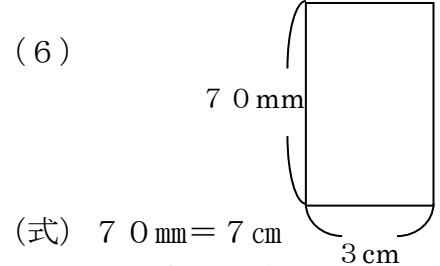
(答) 45  $\text{cm}^2$



(式)  $40\text{mm} = 4\text{cm}$

$4 \times 4 = 16$

(答) 16  $\text{cm}^2$



(式)  $70\text{mm} = 7\text{cm}$

$7 \times 3 = 21$

(答) 21  $\text{cm}^2$

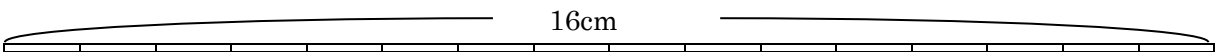
2 ( ) にあてはまる、面積の単位を書きましょう。(10点×2問)

(1) 埼玉県のアreas... 3797 (  $\text{km}^2$  )

(2) ドッジボールコートのアreas... 200 (  $\text{m}^2$  )

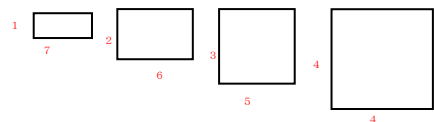
3 下の図のような長さが16cmのはり金があります。1cm間かくするしをつけ、しるしのところでおりまげて、いろいろな長方形や正方形を作ります。

次のような四角形はどんな四角形ですか。(10点×2問)



(1) 面積が一番大きな四角形は

たて ( 4 ) cm、横 ( 4 ) cm の [ 長方形 **正方形** ]



(2) 面積が一番小さな四角形は

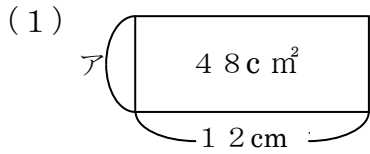
たて ( 1 ) cm、横 ( 7 ) cm の [ **長方形** 正方形 ]

たてと横は入れかわってもよい



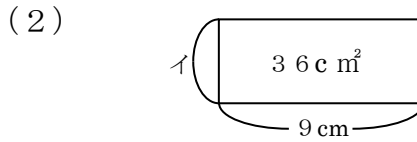
( )年 ( )組 ( )番  
名前 ( )

1 下図のア、イの長さを求めましょう。(10点×2問)



(式)  $48 \div 12 = 4$

(答) 4 cm

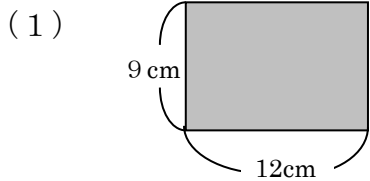


(式)  $36 \div 9 = 4$

(答) 4 cm

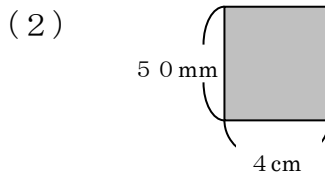
点

2 色のついた部分の面積を求めましょう。(10点×6問)



(式)  $9 \times 12 = 108$

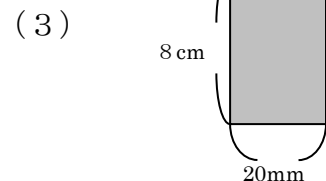
(答) 108 cm²



(式)  $50 \text{ mm} = 5 \text{ cm}$

$5 \times 4 = 20$

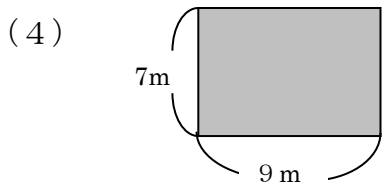
(答) 20 cm²



(式)  $20 \text{ mm} = 2 \text{ cm}$

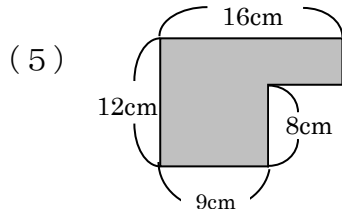
$8 \times 2 = 16$

(答) 16 cm²



(式)  $7 \times 9 = 63$

(答) 63 m²

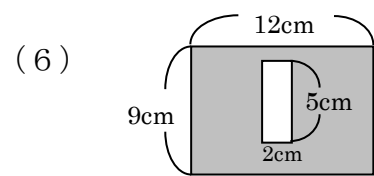


(式) (例)  $12 \times 16 = 192$

$16 - 9 = 7$     $8 \times 7 = 56$

$192 - 56 = 136$

(答) 136 cm²



(式)  $9 \times 12 = 108$

$5 \times 2 = 10$

$108 - 10 = 98$

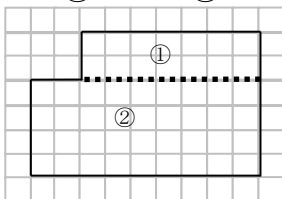
(答) 98 cm²

3 右のような形の面積を求めるのに、次のように計算しました。

どのように考えたのか、図に点線をかきましょう。(10点×2問)

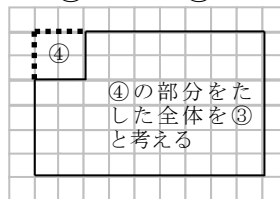
(1)  $2 \times 7 + 4 \times 9$

①      ②

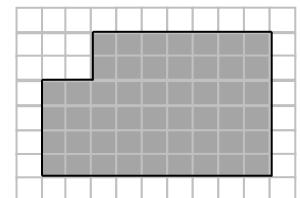


(2)  $6 \times 9 - 2 \times 2$

③      ④



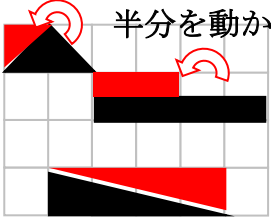
④の部分をついた全体を③と考える



(1マスは1cmの正方形)



1 色をぬった部分の面積は、それぞれ何  $\text{cm}^2$  ですか。(10点×3問)  
(1マスは1cmの正方形です)

(1)  半分を動かして

(1) (答) 1  $\text{cm}^2$

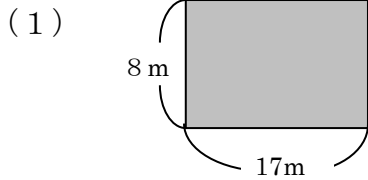
(2) (答) 2  $\text{cm}^2$

(3) (答) 2  $\text{cm}^2$

(3) 2つを合わせて、その半分と考えてもよい

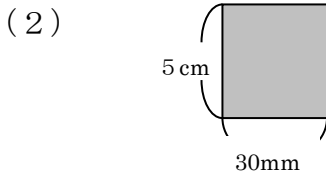
点

2 色のついた部分の面積を求めましょう。(10点×3問)



(式)  $8 \times 17 = 136$

(答) 136  $\text{m}^2$

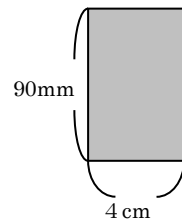


(式)  $30\text{mm} = 3\text{cm}$

$5 \times 3 = 15$

(答) 15  $\text{cm}^2$

(3) ※計算する単位をそろえよう



(式)  $90\text{mm} = 9\text{cm}$

$9 \times 4 = 36$

(答) 36  $\text{cm}^2$

3 長さが24cmのはり金をおり曲げて、たての長さが4cmの長方形を作ると、その面積は何  $\text{cm}^2$  になりますか。(10点)

(式) (例)  $24 - (4 \times 2) = 16$

$16 \div 2 = 8 \quad 4 \times 8 = 32$

(答) 32  $\text{cm}^2$



4 右のような大きさの新聞紙があります。(10点×3問)

(1) 新聞紙の面積は、何  $\text{cm}^2$  ですか。

(式)  $56 \times 80 = 4480$

(答) 4480  $\text{cm}^2$

(2) 図のように点線で半分におると、面積が半分になります。このときの面積は、何  $\text{cm}^2$  ですか。

(式)  $4480 \div 2 = 2240$

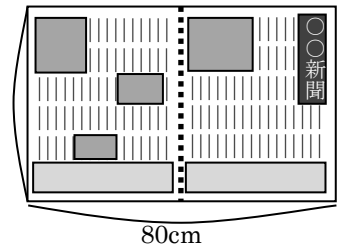
(答) 2240  $\text{cm}^2$

(3) いつも面積が半分になるように、おっていきます。(2) からさらに2回おったとき、新聞紙の面積は何  $\text{cm}^2$  ですか。

(式)  $2240 \div 2 \div 2 = 560$

半分のさらに半分

(答) 560  $\text{cm}^2$



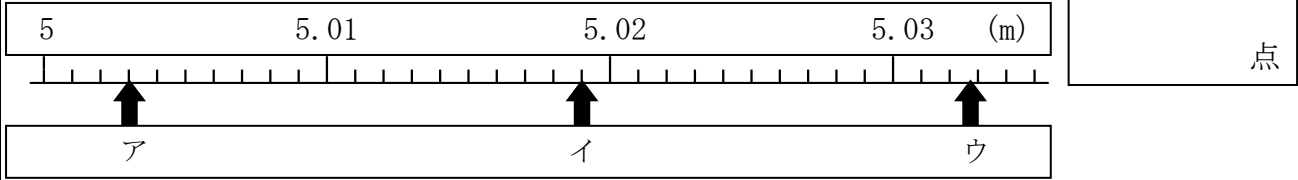




( )年( )組( )番  
名前( )

模範解答

1 次のめもりが表す長さは、何mですか。(3問×10点)



ア(5.003) イ(5.019) ウ(5.033)

2 次の重さを、kg単位で表しましょう。(2問×10点)

(1) 2kg793g (2.793kg)

(2) 82g (0.082kg)

3 4.567は、それぞれ1, 0.1, 0.01, 0.001をそれぞれ何こ集めた数ですか。(10点)

4.567		
4	.....1	が(4)こ
0.5	.....0.1	が(5)こ
0.06	.....0.01	が(6)こ
0.007	.....0.001	が(7)こ

4 2.705について考えます。(2問×10点)

(1) 5は、何の位の数字ですか。 ( $\frac{1}{1000}$ の位)

(2)  $\frac{1}{10}$ の位の数字は、何ですか。 (7)

5 3.14という数について、いろいろな表し方を考えて書きましょう。

- (例) ① 3.14は、3と0.14をあわせた数です。
- ② 3.14は、3.2より0.06小さい数です。
- ③ 3.14は、1を3こ、0.1を1こ、0.01を4こあわせた数です。
- ④ 3.14は、0.01を314こ集めた数ですか。



模範解答

( )年( )組( )番  
名前( )

1 0.01をなんこ集めた数ですか。(2問×10点)

- (1) 4は 0.01を(400)こ  
 0.1は 0.01を(10)こ  
 0.08は 0.01を(8)こ  
 4.18は 0.01を(418)こ集めた数です。

	点
--	---

(2) 1.2は、0.01を(120)こ集めた数です。

2 次の数を、小さい順にならべましょう。(10点)

㉠0.03    ㉡0    ㉢0.2    ㉣0.009
-------------------------------

(㉠→㉣→㉡→㉢)

3 3.78という数について調べました。次の( )にあてはまる数を書きましょう。  
(4問×10点)

(1) 3.78は、3と(0.78)を合わせた数です。
-----------------------------

(2) 3.78は、3.8より(0.02)小さい数です。
------------------------------

(3) 3.78は、1を(3)こ、0.1を(7)こ、 0.01を(8)こ合わせた数です。
---

(4) 3.78は、0.01を(378)こ集めた数です。
------------------------------

4 (1) 0.79を10倍した数は、いくつですか。(10点) (7.9)

(2) 0.79を $\frac{1}{10}$ した数は、いくつですか。(10点) (0.079)

5 小数を10倍すると位が一けたずつ上がるのはなぜですか。理由を説明しましょう。  
(10点)

(理由) <例> 小数も、整数と同じしくみだから、10倍すると位が上がる。
--



模範解答

( )年( )組( )番  
名前( )

1 筆算で計算しましょう。(10点×2問)

(1)  $3.14 + 5.79$

$$\begin{array}{r} 3.14 \\ + 5.79 \\ \hline 8.93 \end{array}$$

(2)  $45.38 + 6.92$

$$\begin{array}{r} 45.38 \\ + 6.92 \\ \hline 52.30 \end{array}$$

点

(3)  $13.8 + 0.56$

$$\begin{array}{r} 13.8 \\ + 0.56 \\ \hline 14.36 \end{array}$$

(4)  $5 + 9.94$

$$\begin{array}{r} 5 \\ + 9.94 \\ \hline 14.94 \end{array}$$

(5)  $7.96 - 5.97$

$$\begin{array}{r} 7.96 \\ - 5.97 \\ \hline 1.99 \end{array}$$

(6)  $48.35 - 4.8$

$$\begin{array}{r} 48.35 \\ - 4.8 \\ \hline 43.55 \end{array}$$

(7)  $21.5 - 8.72$

$$\begin{array}{r} 21.5 \\ - 8.72 \\ \hline 12.78 \end{array}$$

(8)  $6 - 0.0084$

$$\begin{array}{r} 6 \\ - 0.0084 \\ \hline 5.9916 \end{array}$$

(9)  $3.84 + 25.6 - 27.26$

$$\begin{array}{r} 3.84 \\ + 25.6 \\ \hline 29.44 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 29.44 \\ - 27.26 \\ \hline 2.18 \end{array}$$

2  $1 - 0.735$ の答えは、 $1000 - 735 = 265$ をもとにして求められます。  
その理由を説明しましょう。(10点)

(理由) <例>

0.001をもとに考えると、 $1 - 0.735$ は、 $1000 - 735$ としてよいか  
ら



( )年 ( )組 ( )番  
名前 ( )

1 次の□と○の関係を表している式を、下の①～⑥の中から選んで、記号で答えましょう。(10点×4問)

(1) 1日の昼の長さ□時間と夜の長さ○時間

(答え) ③

(2) 20まいのおり紙のうち、□まい使ったときの残り○まい

(答え) ②

(3) 24このビー玉を、□人で同じ数ずつ分けたときの1人分○こ

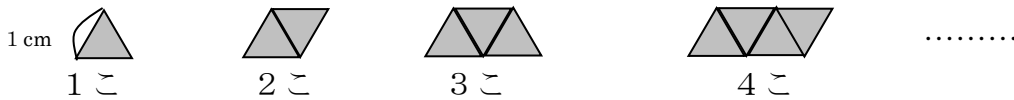
(答え) ⑥

(4) 200円で□円のけしごむを買ったときのおつり○円

(答え) ①

- ①  $200 - \square = \bigcirc$       ②  $20 - \square = \bigcirc$       ③  $\square + \bigcirc = 24$   
 ④  $\square - \bigcirc = 24$       ⑤  $20 + \bigcirc = \square$       ⑥  $24 \div \square = \bigcirc$

2 1辺が1cmの正三角形のあつ紙を、下の図のように1列にならべます。正三角形の数がふえると、まわりの長さはどのように変わるか調べましょう。(10点×4問、20点×1問)



(1) 正三角形の数とまわりの長さを、下の表にまとめましょう。

正三角形の数(こ)	1	2	3	4	5	6	7	...
まわりの長さ(cm)	3	4	5	6	7	8	9	...

(2) 正三角形の数が1こずつふえると、まわりの長さはどのように変わりますか。

(答え) 1 cm ずつふえる

(3) まわりの長さの数は、正三角形の数にいくつをたしたのですか。

(答え) 2

(4) 正三角形の数を□こ、まわりの長さを○cmとして□と○の関係を式に表しましょう。

(答え) (例)  $\square + 2 = \bigcirc$ ,  $\bigcirc - \square = 2$ ,  $\bigcirc - 2 = \square$

(5) 正三角形の数が20このときの、まわりの長さを求めましょう。(20点)

(式)  $20 + 2 = 22$

※ (4) の□に、20をあてはめてみよう!

(答え) 22 cm

点



( ) 年 ( ) 組 ( ) 番  
名前 ( )

1 次の事がらを□と○を使って、変わり方を式に表しましょう。(10点×6問)

(1) 1mが12gのはり金の長さ□mと、重さ○gの関係

(答え)  $12 \times \square = \bigcirc$

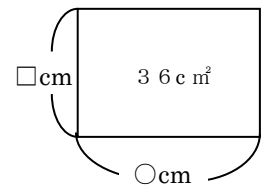
(2) 130まいあるおり紙の使ったまい数 □まいと、残りのまい数 ○まいの関係

(答え)  $130 - \square = \bigcirc$

(3) □才の兄さんと、4才年下の弟の年れい○才の関係

(答え)  $\square - 4 = \bigcirc, \square - \bigcirc = 4, \bigcirc + 4 = \square$

(4) 面積が36cm<sup>2</sup>の長方形のたて□cmと、横○cmの関係



(答え)  $\square \times \bigcirc = 36$

(5) 1本40円のえんぴつを買うときの買う本数□本と、代金○円の関係

(答え)  $40 \times \square = \bigcirc$

(6) 24このチョコレートを同じ数ずつみんなで分けるときの人数□人と、1人分のチョコレートの数○この関係

(答え)  $24 \div \square = \bigcirc, \bigcirc \times \square = 24$

2 まわりの長さが24cmの長方形をつくります。(10点×4問)

(1) たての長さ、横の長さを、下の表にまとめましょう。

たての長さ (cm)	1	2	3	4	5	6	7	8
横の長さ (cm)	11	10	9	8	7	6	5	4

(2) たての長さが1cmずつふえると、横の長さはどのように変わりますか。

(答え)  $1 \text{ cm ずつへる}$

(3) たての長さを□cm、横の長さを○cmとして、□と○の長さの関係を式に表しましょう。

(答え)  $\square + \bigcirc = 12$

(4) たての長さが9cmのときの、横の長さを計算で求めましょう。

(式)  $9 + \bigcirc = 12 \quad 12 - 9 = 3$

※たてと横の長さをたすと、12になるよね。

(答え)  $3 \text{ cm}$



( )年( )組( )番

名前( )

1 えんぴつの数と代金の関係を表に表しました。(10点×3問)

(1) 表のあいているところに、数を書き入れましょう。

えんぴつの数(本)	1	2	3	4	5	6	
代 金(円)	80	160	240	320	400	480	

点

(2) えんぴつの数を□本、代金を○円として、□と○の関係を式に表しましょう。

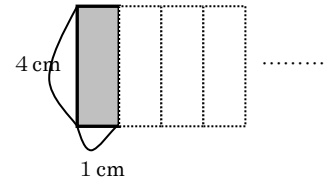
(答え)  $80 \times \square = \bigcirc$

(3) えんぴつの数が12本のときの、代金を求めましょう。

(式)  $80 \times 12 = 960$

(答え)  $960$ 円

2 たてが4cm、横が1cmの長方形があります。横の長さを、2cm、3cm……にのぼすと、面積はどのように変わるかを調べましょう。(10点×3問)



(1) 横の長さや面積を、下の表にまとめましょう。

横の長さ(cm)	1	2	3	4	5	6	7
面 積(c㎡)	4	8	12	16	20	24	28

(2) 横の長さを□cm、面積を○c㎡として、□と○の関係を式に表しましょう。

(答え)  $4 \times \square = \bigcirc$

(3) 横の長さが16cmのときの、面積を求めましょう。

(式)  $4 \times 16 = 64$

(答え)  $64$  c㎡

3 あめ玉30こを、兄と弟の2人で分けます。

(1) 30このあめ玉を、2人で分けると考えて、下の表にあてはまる数を書き入れましょう。(10点×2問)

兄の分(こ)	30	29	28	27	26	25	24
弟の分(こ)	0	1	2	3	4	5	6
兄と弟の差(こ)	30	28	26	24	22	20	18

(2) 兄の分を、弟の分より8こ多くしたいと思います。上の表をさんこうにして、兄の分のあめ玉と、弟の分のあめ玉の数を求めましょう。(20点)

例1 兄と弟の差が、8こになるまで表を書いていくと…

例2 兄の分が1こへると、弟の分が1こふえて、差が2こずつへっていくね。それを使って…

式で表すと  $\rightarrow 30 - 2 \times \square = 8$

例3 30こから8こ取っておいて、のこりの22こを2人で半分ずつ分け、取っておいた8こを…

式で表すと  $\rightarrow 30 - 8 = 22, 22 \div 2 = 11, 11 + 8 = 19$

例4  $30 - \square \times 2 = 8$  (答え) 兄 19こ 弟 11こ



( )年( )組( )番  
名前( )

模範解答

1 次の( )にあてはまる数字や言葉を、書きましょう。(10点)

$$0.4 \times 7 = 2.8 \quad \leftarrow$$

$$\downarrow (\times 10) \quad \downarrow (\times 10) \quad \left( \times \frac{1}{10} \text{ 10でわる} \right)$$

$$4 \times 7 = 28$$

点

2 次の問題を、筆算で計算しましょう。(6問×10点)

(1)  $0.7 \times 6$

$$\begin{array}{r} 0.7 \\ \times 6 \\ \hline 4.2 \end{array}$$

(2)  $3.8 \times 4$

$$\begin{array}{r} 3.8 \\ \times 4 \\ \hline 15.2 \end{array}$$

(3)  $2.4 \times 56$

$$\begin{array}{r} 2.4 \\ \times 56 \\ \hline 144 \\ 120 \phantom{0} \\ \hline 134.4 \end{array}$$

(4)  $28.5 \times 32$

$$\begin{array}{r} 28.5 \\ \times 32 \\ \hline 570 \\ 855 \phantom{0} \\ \hline 912.0 \end{array}$$

(5)  $86.1 \times 60$

$$\begin{array}{r} 86.1 \\ \times 60 \\ \hline 5166.0 \end{array}$$

(6)  $0.435 \times 6$

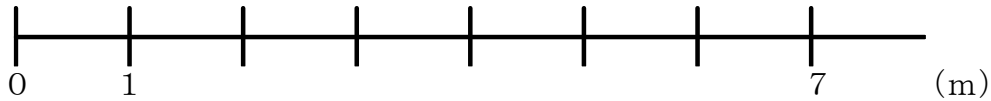
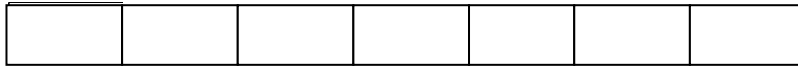
$$\begin{array}{r} 0.435 \\ \times 6 \\ \hline 30 \\ 18 \phantom{0} \\ 24 \phantom{00} \\ \hline 2.610 \end{array}$$

3 1mの重さが2.56kgの鉄のぼうがあります。この鉄のぼう7mの重さは何kgですか。図を完成させてから、式・答えを求めましょう。

(図・式・答え各10点)

0 2.56

□ (kg)



(式)  $2.56 \times 7 = 17.92$

答え 17.92 kg



( )年 ( )組 ( )番

名前 ( )

模範解答

1 計算をしましょう。(8問×10点)

◆ (1)～(6)は、わりきれぬまで計算しましょう。(7)、(8)は、商は四捨五入して、上から2けたのがい数で求めましょう。

点

(1)  $5.2 \div 4$

$$\begin{array}{r} 1.3 \\ 4 \overline{) 5.2} \\ \underline{4} \phantom{0} \\ 12 \\ \underline{12} \\ 0 \end{array}$$

(2)  $10.8 \div 36$

$$\begin{array}{r} 0.3 \\ 36 \overline{) 10.8} \\ \underline{108} \\ 0 \end{array}$$

(3)  $0.28 \div 7$

$$\begin{array}{r} 0.04 \\ 7 \overline{) 0.28} \\ \underline{28} \\ 0 \end{array}$$

(4)  $25 \div 4$

$$\begin{array}{r} 6.25 \\ 4 \overline{) 25} \\ \underline{24} \phantom{0} \\ 10 \\ \underline{8} \phantom{0} \\ 20 \\ \underline{20} \\ 0 \end{array}$$

(5)  $52.8 \div 75$

$$\begin{array}{r} 0.704 \\ 75 \overline{) 52.8} \\ \underline{525} \phantom{0} \\ 300 \\ \underline{300} \\ 0 \end{array}$$

(6)  $22.5 \div 3$

$$\begin{array}{r} 7.5 \\ 3 \overline{) 22.5} \\ \underline{6} \phantom{0} \\ 15 \\ \underline{15} \\ 0 \end{array}$$

(7)  $90.5 \div 35$

$$\begin{array}{r} 2.58 \\ 35 \overline{) 90.5} \\ \underline{70} \phantom{0} \\ 205 \\ \underline{175} \phantom{0} \\ 300 \\ \underline{280} \\ 20 \end{array}$$

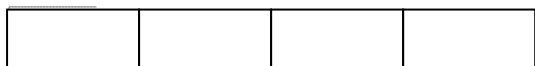
(8)  $64.5 \div 19$

$$\begin{array}{r} 3.39 \\ 19 \overline{) 64.5} \\ \underline{57} \phantom{0} \\ 75 \\ \underline{57} \phantom{0} \\ 180 \\ \underline{171} \\ 9 \end{array}$$

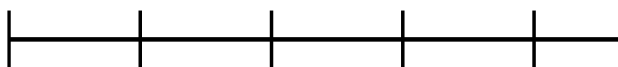
2 5.08Lの水を4人で等分すると、1人分は何Lになりますか。

(図10点、式・答え10点)

(0) (□) (5.08) (L)



(式)  $5.08 \div 4 = 1.27$



(0) (1) (4) (人)

答え 1.27L



( )年 ( )組 ( )番  
名前 ( )



模範解答

1  $507 \times 3 = 1521$  をもとにして、次の積を求めましょう。

点
---

(1)  $0.507 \times 3 = 1.521$

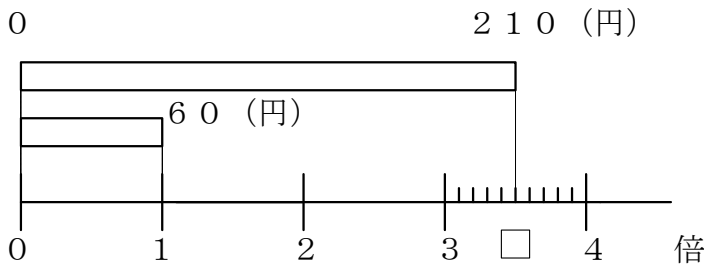
(2)  $50.7 \times 0.3 = 15.21$

2  $936 \div 4 = 234$  をもとにして、次の商を求めましょう。

(1)  $93.6 \div 4 = 23.4$

(2)  $0.936 \div 4 = 0.234$

3 シャーペンスルのねだんは210円で、えん筆のねだんは60円です。シャーペンスルのねだんは、えん筆のねだんの何倍ですか。(式・答え各10点)



(式)  $210 \div 60 = 3.5$

答え 3.5倍

4  $12.3\text{m}$ のリボンがあります。このリボンから $7\text{m}$ のリボンは何本とれますか。また、何 $\text{m}$ あまりますか。(式・答え各10点)

(式)  $12.3 \div 7 = 1\text{あまり}5.3$

答え 1本とれて、5.3mあまる

5 (2, 3, 6, 8) の4つの数字を1回ずつ使って、それぞれ次のかけ算とわり算の式をつくります。積、商が最も大きくなるのはどんな式のときですか。

$$\begin{array}{r} \boxed{6} \cdot \boxed{3} \boxed{2} \\ \times \quad \quad \boxed{8} \\ \hline \end{array}$$

$$\boxed{2} \overline{) \boxed{8} \cdot \boxed{6} \boxed{3}}$$



模範解答

( )年 ( )組 ( )番  
名前 ( )

1 次の問題に答えましょう。

- (1) 0.5Lの水の入ったペットボトルが、120円で売っています。  
36本買うと、水は、全部で何Lになりますか。(式・答え各10点)
- (式)  $0.5 \times 36$

点
---

答え 18L

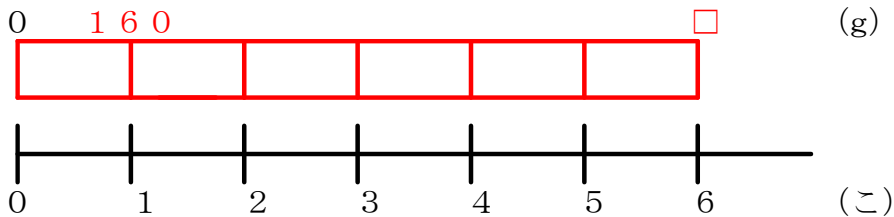
- (2) 東京スカイツリーの高さは634mで、もえさんの家の高さは8mです。  
スカイツリーの高さは、もえさんの家の高さの何倍ですか。(式・答え各10点)
- (式)  $634 \div 8$

答え 79.25倍

- (3) 700円で、158円のレタスを1こ、90円のトマトを何か買います。  
トマトは、どこまで買うことができますか。(式・答え各10点)
- (式)  $700 - 158 (=542)$   
 $542 \div 90 (=6 \text{ あたり } 2)$

答え 6こ

2 ハンバーグを作るには、1こ160gずつのお肉が必要です。  
6こつくと、何gになりますか。(図10点、式・答え10点、説明10点)



(2) 図を見て、式を立てて、式の説明を書きましょう。

(式)  $160 \times 6$

説明 <例>  
1こ160gだから、6こ分なら6倍すればよい

答え 960g



模範解答

( ) 年 ( ) 組 ( ) 番  
名前 ( )

1 次の問題に答えましょう。

(1) ゆうさんの家の車は、1Lのガソリンで16km走るとします。

ゆうさんの家から、公園までの道のりは64kmです。

ゆうさんの家から公園までの道のりをおうふくすると、ガソリンは何L使いますか。(式・答え各10点)

(式)  $64 \times 2 (=128)$   
 $128 \div 16$

点

答え 8L

(2) たてが50m、横が40mの長方形の形をしたちゅう車場があります。

このちゅう車場の面積は、何 $m^2$ ですか。また、何aですか。(式・答え各10点)

(式)  $50 \times 40 (=2000)$   
 $2000m^2 (=20a)$

答え 2000  $m^2$ 、 20 a

(3) 8mのひもがあります。なわとびをするのに、ひもを5.91m切りました。

ひもは、何mのこっていますか。(式・答え各10点)

(式)  $8 - 5.91$

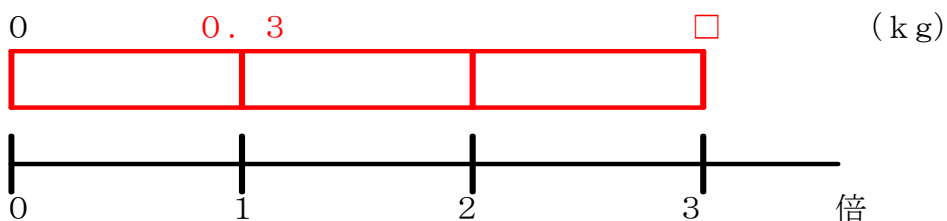
答え 2.09m

2 ゆうきさんの家には、生まれて4か月の犬がいます。生まれたときの体重は、

0.3kgで、今の体重は、生まれたときの3倍です。

今の体重は、何kgですか。(図10点、式・答え10点、説明10点)

(1) テープ図を完成させましょう。



(2) 図を見て、式を立てて、式の説明を書きましょう。

(式)  $0.3 \times 3$

答え 0.9kg

説明 <例>  
3倍だから、0.3kgも3倍すれば  
答えが求められる

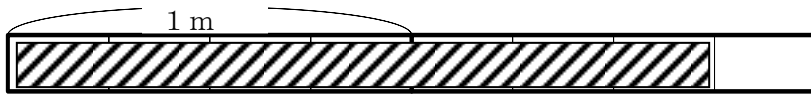


模範解答

( )年( )組( )番  
名前( )

1 次の大きさの分だけ黒くぬりましょう。(10点×2問)

(1)  $\frac{7}{4}$  m



	点
--	---

(2)  $1\frac{2}{3}$  m



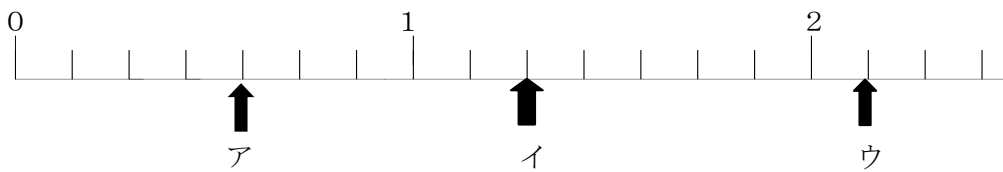
2 次の分数を、「真分数」「仮分数」「帯分数」に分けましょう。(10点×3問)

$\frac{2}{3}$     $2\frac{3}{4}$     $\frac{6}{5}$     $5\frac{5}{6}$     $\frac{10}{7}$     $\frac{1}{8}$     $\frac{9}{9}$

真分数	$\frac{2}{3}$ 、 $\frac{1}{8}$
仮分数	$\frac{6}{5}$ 、 $\frac{10}{7}$ 、 $\frac{9}{9}$
帯分数	$2\frac{3}{4}$ 、 $5\frac{5}{6}$



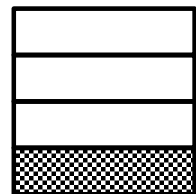
3 次のア～ウのめもりがさす分数はいくつですか。1よりおおき分数は、仮分数と帯分数で答えましょう。(10点×3問)



ア ( $\frac{4}{7}$ )、イ ( $1\frac{2}{7}\cdot\frac{9}{7}$ )、ウ ( $2\frac{1}{7}\cdot\frac{15}{7}$ )

4 折り紙をぴったりと重なるように2回折ったら、もとの大きさの  $\frac{1}{4}$  になりました。

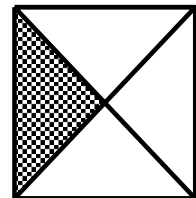
どうして、同じ大きさになるのか、説明しましょう。(20点)



理由

<例>

○2つの図とも、同じ大きさの形を4つに等しく分けた(4等分した)うちの、1つ分の大きさになっているから。



模範解答

1 次の問題に答えましょう。(10点×8問)

(1) 帯分数か整数になおしましょう。

①  $\frac{16}{3}$

$5\frac{1}{3}$

点

②  $\frac{24}{6}$

4

(2) 仮分数になおしましょう。

①  $1\frac{1}{2}$

$\frac{3}{2}$

②  $2\frac{3}{4}$

$\frac{11}{4}$



(3) 大きい順にならべましょう。

①  $\left(\frac{12}{5}, 3, 3\frac{4}{5}\right)$

$3\frac{4}{5} \rightarrow 3 \rightarrow \frac{12}{5}$

②  $\left(\frac{1}{2}, \frac{1}{3}, \frac{1}{4}\right)$

$\frac{1}{2} \rightarrow \frac{1}{3} \rightarrow \frac{1}{4}$

(4) 次の分数の大小を、不等号を使って表しましょう。

①  $\left(\frac{29}{4}, 7\frac{3}{4}\right)$

$\frac{29}{4} < 7\frac{3}{4}$

②  $\left(5\frac{5}{8}, \frac{44}{8}\right)$

$5\frac{5}{8} > \frac{44}{8}$



2 次の問題に答えましょう。(20点)

1mの $\frac{3}{10}$ と0.3mは、同じ長さです。どうして同じ長さになるのか、理由を説明しましょう。

理由 <例>

$\frac{3}{10}$ は、1を10こに等しく分けた(10等分した)うちの3つ分の長さ

0.3も、1を10こに等しく分けた(10等分した)うちの3つ分の長さでどちらもおなじ大きさになるから



模範解答

( ) 年 ( ) 組 ( ) 番  
名前 ( )

1 次の問題に答えましょう。(10点×8問)

(1)  $\frac{1}{4} + \frac{2}{4} = \frac{3}{4}$

(2)  $\frac{2}{5} + \frac{3}{5} = \frac{5}{5}$   
 $= 1$

点

(3)  $\frac{6}{7} - \frac{3}{7} = \frac{3}{7}$

(4)  $\frac{9}{6} - \frac{5}{6} = \frac{4}{6} \left( \frac{2}{3} \right)$

(5)  $1\frac{4}{9} + 2\frac{3}{9} = 3\frac{7}{9}$

(6)  $1\frac{2}{8} + \frac{7}{8} = 1\frac{9}{8}$   
 $= 2\frac{1}{8}$

(別解)  $1\frac{4}{9} + 2\frac{3}{9} = \frac{13}{9} + \frac{21}{9}$   
 $= \frac{34}{9}$

(別解)  $1\frac{2}{8} + \frac{7}{8} = \frac{9}{8} + \frac{7}{8}$   
 $= \frac{17}{8}$

(7)  $3\frac{4}{5} - \frac{3}{5} = 3\frac{1}{5}$

(8)  $1\frac{2}{7} - \frac{5}{7} = \frac{9}{7} - \frac{5}{7}$   
 $= \frac{4}{7}$

(別解)  $3\frac{4}{5} - \frac{3}{5} = \frac{19}{5} - \frac{3}{5}$   
 $= \frac{16}{5}$

2  $\frac{1}{5} + \frac{3}{5}$  の答えが  $\frac{4}{5}$  になる理由を説明しましょう。

<例>

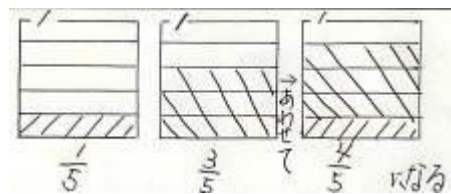
理由

①  $\frac{1}{5}$  は、 $\frac{1}{5}$  が1つ分のこと、 $\frac{3}{5}$  は、 $\frac{1}{5}$  が3つ分のこと、

2つを合わせると、 $\frac{1}{5}$  が4つ分の大きさになるので、

答えは  $\frac{4}{5}$  になる。

②



( )年( )組( )番  
名前( )



模範解答

1 次の形の名前を書きましょう。(10点×2問)

(1) 長方形だけで囲まれた形や長方形と正方形で囲まれた形

直方体

(2) 正方形だけで囲まれた形

立方体

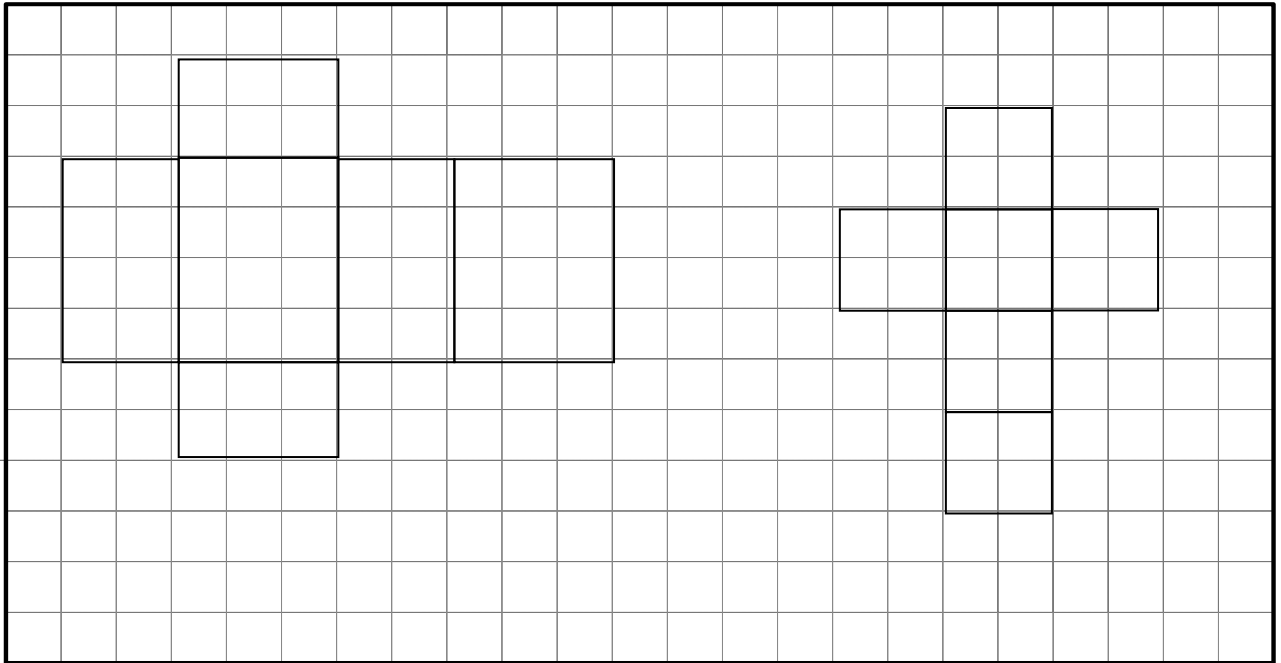
点

2 直方体、立方体について調べました。(面、辺、頂点10点×3問)

	面の数	辺の数	頂点の数
直方体	6	12	8
立方体	6	12	8

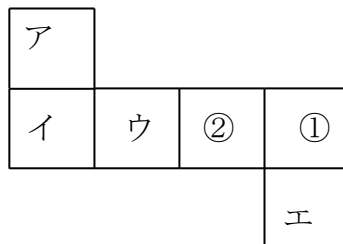
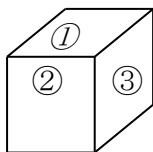
3 つぎの箱の展開図をかきましょう。(10点×2問)

- ① 2cmと3cmの面2まい、2cmと4cmの面2まい、3cmと4cmの面2まいからなる直方体
- ② すべての長さが2cmの立方体



4 下の図のようなさいころの展開図をかきました。

数字の「③」はアイウエのどこに入りますか。(答え10点、説明20点)  
また、その理由を説明しましょう。



(答え) エ

(理由) <例>

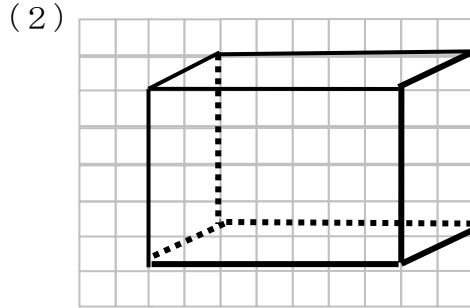
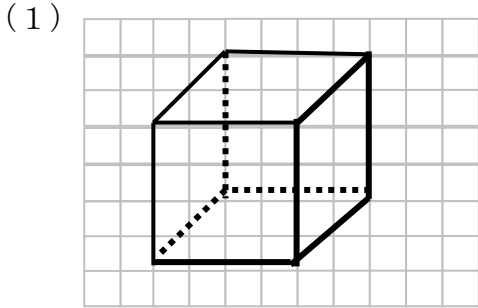
③の面は①と②のりょう方に、となりあっている面だから。

( )年( )組( )番  
名前( )



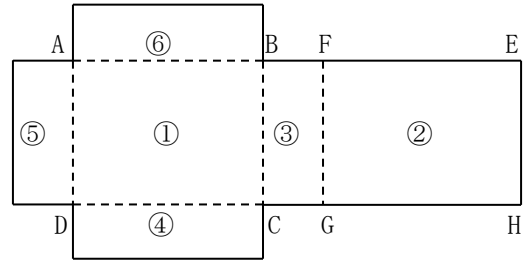
模範解答

1 下の図の続きを書いて、見取図を完成させましょう。(10点×2問)



点

2 下のような展開図を組み立てたときにできる、直方体について、問いに答えましょう。(10点×6問)



(1) 面①に垂直な面はどれですか。全て答えましょう。

(答え) 面③、④、⑤、⑥

(2) 面⑤に垂直な面はどれですか。全て答えましょう。

(答え) 面①、④、②、⑥

(3) 面④に平行な面はどれですか。(答え) 面⑥

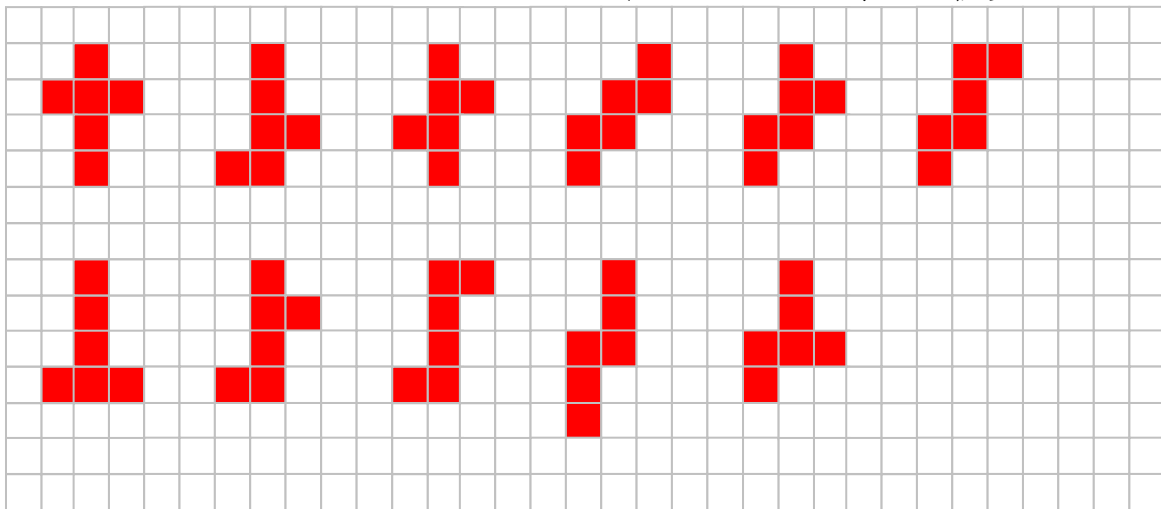
(4) 直方体には、平行な2つの面が何組ありますか。(答え) 3組

(5) ちょう点Aを通過して、辺AEに垂直な辺はどれですか。全て答えましょう。(答え) 辺AB、辺AD

(6) 面①に垂直な辺はどれですか。全て答えましょう。(答え) 辺AE、BF、CG、DH

3 立方体の展開図は11通りあります。いくつかけるか挑戦しましょう。

(1つできて2点、10個以上で20点)





( )年( )組( )番  
名前( )



模範解答

1 右の直方体で、面や辺の垂直や平行について調べましょう。(5問×10点)

(1) 辺アカと垂直な辺を、全て書きましょう。

(答え) 辺アイ、辺アエ、辺カキ、辺カケ

(2) 辺カキと平行な辺を、全て書きましょう。

(答え) 辺アイ、辺エウ、辺ケク

(3) ちょう点イを通過して、辺イキに垂直な辺を、全て書きましょう。

(答え) 辺アエ、辺イウ

(4) ちょう点カを通過して、辺カキに垂直な辺を、全て書きましょう。

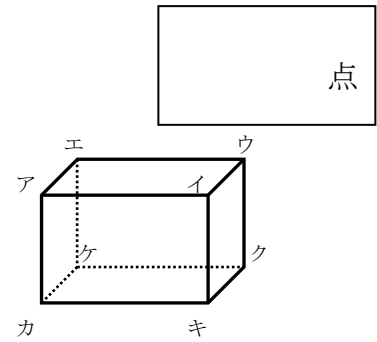
(答え) 辺アカ、辺カケ

(5) 面アイウエに平行な面を、書きましょう。

(答え) 面カキクケ

(6) 面カキクケに垂直な面は、いくつありますか。

(答え) 4つ



2 右の直方体で、頂点Gの位置は、頂点Eをもとにして、(横9cm、たて4cm、高さ0cm)と表すことができます。

つぎの問題に同じように答えましょう。

(10点×3問)

(1) 頂点Aをもとにした、頂点Cの位置

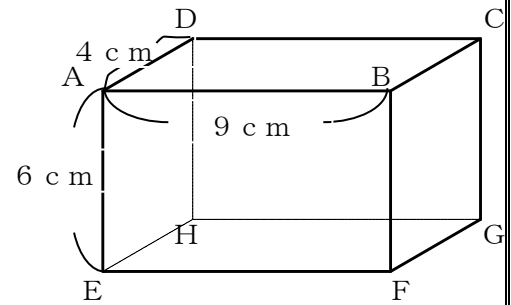
(答え) 横 9cm たて 4cm 高さ 0cm

(2) 頂点Eをもとにした、頂点Dの位置

(答え) 横 0cm たて 4cm 高さ 6cm

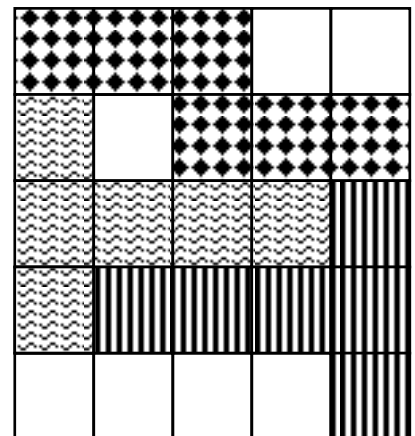
(3) 頂点Eをもとにした、頂点Cの位置

(答え) 横 9cm たて 4cm 高さ 6cm



3 方眼紙に展開図を書いて、サイコロを作ります。できるだけ多くのサイコロを作るには、どのように展開図を書くとよいでしょう。

右の方眼紙に、展開図を書いてみましょう。同じ形の展開図を書いてもいいです。(20点)



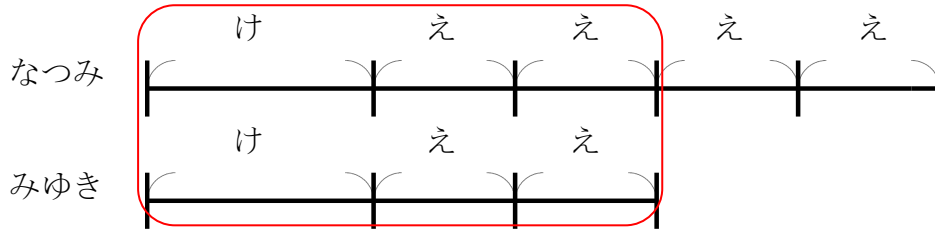


( )年( )組( )番  
名前( )

1 次の問題に答えましょう。

なつみさんとみゆきさんは、ぶんぼうぐ屋さんに行きました。  
なつみさんは、けしゴム1つとえん筆4本を買い、340円はらいました。  
みゆきさんは、けしゴム1つとえん筆2本を買い、220円はらいました。  
けしゴムとえん筆は、それぞれいくらですか。

点



(1) 2人の共通部分  は、何ですか。また、そのねだんは、何円ですか。

(10点)

消しゴム 1つとえん筆 2本

220円

(2) 2人のちがう部分は、何ですか。(10点)

えん筆 2本

(3) えん筆2本のねだんは、いくらですか。また、その計算のしかたを説明しましょう。(式・答え2問×10点、説明20点)

(式)  $340 - 220$

答え 120円

(理由)

なつみさんのねだんと、みゆきさんのねだんの差がえん筆2本分だから、引き算をすればよい

(4) えん筆1本のねだんは、いくらですか。(2問×10点)

(式)  $120 \div 2$

答え 60円

(5) 消しゴム1つのねだんはいくらですか。(2問×10点)

(式) ①  $220 - (60 \times 2)$  ②  $340 - (60 \times 4)$

答え 100円



1 次の問題に答えましょう。(10問×10点)

えりさんとあんなさんは、家族といっしょに動物園に行きました。その動物園は、おとなと子どもでは入場料がちがいます。

えりさんは、おとな2人と自分の3人で行き、2700円をはらいました。

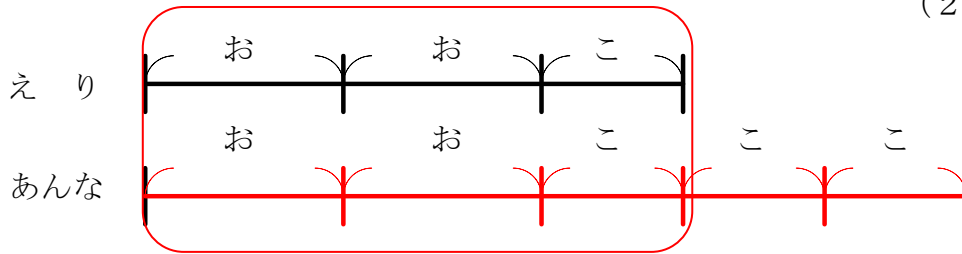
あんなさんは、おとな2人と姉・自分・弟の5人で行き、4100円はらいました。

おとなと子どもの入場料は、それぞれいくらですか。

点

(1) 問題の様子を図で表しました。あんなさんの図を完成させましょう。

(20点×1問)



(2) 2人の共通部分に、をつけましょう。また、その共通部分のねだんは、何円ですか。(2問×10点)

2700円

(3) 子ども2人のねだんは、いくらですか。(2問×10点)

(式)  $4100 - 2700$

答え 1400円

(4) 子ども1人のねだんは、いくらですか。(2問×10点)

(式)  $1400 \div 2$

答え 700円

(5) おとな1人のねだんは、いくらですか。(2問×10点)

(式) ①  $(2700 - 700) \div 2$

②  $(4100 - 700 \times 3) \div 2$

答え 1000円